

LEICA D-LUX 4

取扱説明書

LEICA D-LUX 4

はじめに

このたびは LEICA D-LUX 4 をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。 また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

内　容



注意事項

以下の内容は米国にのみ適用されます。

■適合性宣言

商標: LEICA
型番 D-LUX 4
責任者 / サポートコンタクト
Leica Camera AG,
Oskar-Barnack-Strasse 11,
D-35606 Solms,
電 話 番 号: +49 (0) 64 42-208-0
ファックス: +49 (0) 64 42-208-333
www.leica-camera.com
info@leica-camera.com

この装置はFCC規定パート15に適合します。操作の際は次の2項目を条件とします。(1) この装置は有害な干渉を引き起こすことはなく、(2) 望ましくない操作を生じさせる可能性を含めて、受信したいかなる干渉に耐えることができなければなりません。

FCC 注意 : この装置は、FCC 規定パート 15 に基づき、クラス B デジタル装置の制限事項に準拠することが確認されています。この制限事項は、住居施設を有害な影響から保護するためのものです。この装置は、無線周波数エネルギーを生じさせることがあり、取扱説明書に従って取り扱わない場合は、無線通信に対する有害な影響を引き起こすおそれがあります。しかしながら、特定の設置方法に対して妨害が生じないという保証はしかねます。この装置の電源を入れたり切ったりして、ラジオまたはテレビの受信を妨害していることが確認された場合は、以下の方法から妨害を訂正してください。

・受信アンテナを回したり、位置を変える。
・本機とレシーバーの間のセパレーションを増やす。
・レシーバーが接続されている回路以外に本機を接続する。
・取扱店またはラジオ / テレビの技術者に相談する。

FCC 注意 : 適合性を継続的に保証するため、パソコンまたは周辺装置に接続する際は、付属の取扱説明書に従い、フェライトコアをもつ遮断されたインターフェースケーブルのみを使用してください。
適合性に関して責任者の明確な承認を得ていない変更、または修正によってこの機器を操作するユーザーの権限が無効になることはありません。



LEICA D-LUX 4



ご購入の製品は、リサイクル可能なリチウムイオン電池で作動します。
バッテリーの再利用についての問い合わせは、1-800-8-BATTERYへお電話ください。

以下の内容はカナダにのみ適用されます。

このクラスBデジタル装置はカナダ ICES-003に準拠します。

以下の内容は英国にのみ適用されます。

定格ラベルはデジタルカメラの底部にあります。

■ 電源リード線に関するご注意

安全にお使いいただくために、以下をよくお読みください。本機にはお客様の安全と便宜のために、3ピン電源プラグが付いています。このプラグにはA5アンペアのヒューズがついています。ヒューズの交換が必要な場合は、新しく交換するヒューズの定格が5アンペアであるか、またASTAまたはBSIからBS1362によって承認されているかを確認してください。ASTA マーク またはBSI マーク のチェックは、ヒューズのボディを確認してください。もしプラグに取り外しが可能なヒューズカバーが含まれている場合は、ヒューズを交換した後、再び取り付けられているかを確認してください。ヒューズカバーを紛失した場合は、新たに代わりのカバーを入手するまでプラグは使用しないでください。

代替ヒューズは、最寄の販売店にてお買い求めください。

警告 : 取り付けプラグがコンセントに合わない場合は、ヒューズを取り外し、プラグを切断して安全な方法で処分してください。

切断したプラグを 13 アンペアのソケットに挿入すると、感電するおそれがあります。

新しいプラグを取り付けた場合は、以下の記述に従ってワイヤーコードを確認してください。

ご不明の点は、有資格電気技師に相談してください。

重要事項 : 電源リード線は、次のコードに従い、色で区別してあります。

青 : ニュートラル

茶色 : ライブ

これらの色がプラグの端子を特定する色と一致しない場合は、次に従ってください。

青色のワイヤーは、アルファベットのNが記されているか、黒、または青の端子に接続してください。

茶色のワイヤーは、アルファベットの L が記されているか、茶色、または赤色の端子に接続してください。

警告 : アルファベットの E かアースのシンボル ⏚ 、または緑色、黄緑色のアースワイヤーは、アース端子に接続しないでください。プラグは防水加工されていません。水に濡らさないでください。

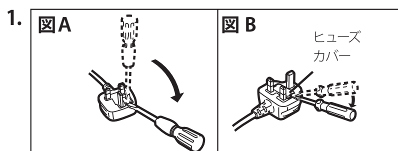
■ ご使用の前に

コネクターカバーを取り外してください。

■ ヒューズの交換方法

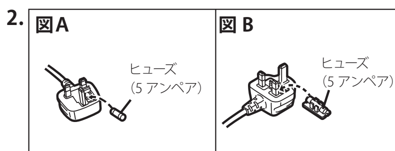
ヒューズの位置は、電源プラグのタイプによって異なります (図Aおよび B 参照)。電源プラグを確認し、次の指示に従ってください。説明中のプラグは、実際の電源プラグと異なる場合があります。

1.



ドライバーを使ってヒューズカバーをあけます。

2.



ヒューズを交換して閉じるか、ヒューズカバーを取り付けてください。



安全に関する注意

初めて使用する前にこの取扱説明書をよく読み、使用の際には必ず順守してください。

安全にお使いいただくために



注意：火災や感電、またその他の損害のおそれを防ぐために、推奨されるアクセサリーのみを使用し、雨や湿気にさらさないようご注意ください。カバーやリアカバーを取り外さないでください。修理は Leica カスタマーサービスにご依頼ください。

警告：著作権にご注意ください。商用に記録されたテープ / ディスク、または出版物の撮影は個人的な使用目的であっても、著作権を侵害するおそれがあります。

ご注意ください：
- 本書のメニュー項目は、実際とは異なる場合があります。
- SD ロゴは商標です。
- LEICA は、Leica Microsystems IR GmbH の登録商標です。
- Elmarit は、Leica Camera AG の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは会社の商標または登録商標です。

本機のダメージを防ぐために



カメラ
- カメラの取り扱いには注意してください。
- カメラを振ったり、たたいたりしないでください。レンズや液晶モニターが損傷するおそれがあります。
- 汚れた手でレンズやソケットに触れないでください。
- 砂、ホコリ、水からカメラを保護してください。
- カメラに海水が付着した場合は、まず水道水で少し湿らせた布でふき取り、その後乾いた布でふきます。



液晶モニター

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や明るい点が現れることがあります。これは故障ではありません。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。
- 本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。



レンズ
- レンズを押して圧力をかけないでください。
- レンズを太陽に向けたまま、放置しないでください。装置が故障するおそれがあります。



結露について

結露は、一定の条件で生じるものです。結露が起こった場合は、電源を [OFF] にし、約 2 時間放置してください。レンズや液晶モニターの水滴は、乾いた布でふき取ってください。
- レンズの汚れや、カビ、故障の原因になるため、お気をつけください。



メモリーカード

- カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気が生じる場所には置かないでください。カードを曲げたり落としたりしないでください。保存データが破損したり、削除されるおそれがあります。
- カードを使用しないときは、カードケースに入れて保管してください。
- 端子に汚れ、砂、液体またその他の異物がつかないようにしてください。



バッテリー（リチウムイオン電池パック）

- 充電は必ず付属のチャージャーを使って行ってください。
- 専用のバッテリーのみを使用してください。
- 端子に汚れ、砂、液体またその他の異物がつかないようにしてください。
- バッテリーを長時間、直射日光にさらさないでください。（車内に放置するなど）
- 金属製物質を端子に接触させないでください。
- バッテリーの火中への投下、過熱、ショート、分解をしないでください。
- バッテリー液に接触した場合は、水道水で衣服や手をしっかりと洗ってください。液が目の中に入った場合は、水道水で十分にすすぎ、こすらないでください。その後、医師の指示に従ってください。



充電装置

- オーバーヒートや火災を防ぐため、充電中は十分に換気を行なってください。
- チャージャーの仕様は110 V AC ～ 240 V ACまでとなっています。
ソケットに合う電源ケーブルを選択してください。
- ソケットはカメラの近くで、すぐ届くようにしてください。



長期間ご使用にならない場合

- バッテリーは、15 ～ 25℃の乾燥した場所に保管してください。
- バッテリーおよびメモリーカードをカメラから取り外してください。
- バッテリーがフル充電されている場合は、カメラの中に保管しないでください。
バッテリーが消耗され、容量が減少する場合があります。
- 一年に一度は充電してください。
- カメラは、専門店で入手可能なシリカゲルなどの乾燥剤または除湿剤とともに保管してください。



画像データ

- 不適切な取り扱いによってカメラが故障した場合、保存ファイルが破損したり紛失することがあります。Leica はファイルの損失による損害に関しては一切責任を負いかねます。



三脚を使う

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- カメラの取り付けや、取り外しの際は、三脚とカメラが正しい位置関係にあることをご確認ください。きつく固定しすぎると、ネジ山がつぶれたり、カメラ本体や定格ラベルに傷をつけるおそれがあります。三脚の取扱説明書をよくお読みください。



エラー予防対策

カメラ

カメラの取り扱い

- 座るときは、カメラをポケットから取り出してください。
- 物が一杯詰まったポケットにカメラを入れたり、紙袋に入れたりしないでください。
- カメラを落としたりたたいたり押したりしないでください。
- ストラップに他のものを取り付けないでください。カメラやディスプレイ、レンズにあたり、損傷の原因となります。
- Leica販売店で専用の携帯用ケースをお買い求めいただけます。

エラーと電波障害対策

本機が影響を受け、正常に動作しないときは、次のように対処してください。

1. 電源をOFFにします。
2. バッテリーを取り出します。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 電源をONにします。

- カメラは、出来るだけ以下の電磁装置から遠ざけてください。

  ■テレビ　■電子レンジ　■ゲーム機
  ■ラジオ送信機　■高圧線など

  これらは、カメラの画像や音に好ましくない影響をおよぼすおそれがあります。例えばファイルの損失、ファイルの損害や画像のゆがみなどが考えられます。
- カメラに付属されたケーブルのみを使用してください。
- ケーブルを引っ張らないでください。
- コードやケーブルを延長して使用しないでください。

カメラのお手入れ

お手入れの前にカメラからバッテリーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 絶対に殺虫剤や揮発性の化学薬品をスプレーしないでください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。湿らせた布でふき、その後乾いた布でふきます。

液晶モニター

- 液晶モニターを押して圧力をかけないでください。液晶モニターにシミが生じたり、故障の原因となります。

メモリーカード

メモリーカードの保存

カードが壊れると、ファイルを損失するおそれがあります。

カードを曲げたり落としたりしないでください。

- カードを汚れ、ホコリ、直射日光、電磁波、静電気から保護してください。

バッテリー / 充電装置

メモリーカードの保存

充電式リチウムイオン電池・発電は、電池内部の化学反応に基づいています。この化学反応は、周囲温度と湿気に影響を受けます。極度の高温や低温は、バッテリーの寿命を劣化させます。

- カメラの使用後はバッテリーを取り出して同梱のケースに入れて保管してください。バッテリーを落下させないでください。
- バッテリーを入れる前に、バッテリーと端子をチェックしてください。壊れたバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーが正しく入っているか確認してください。バッテリーが正しく挿入されていない場合は、爆発の危険があります。
- 可能であれば、予備バッテリーを用意してください。
- 低温で使用すると、バッテリーの耐用年数が短くなります。
- 長期間出掛ける際は、チャージャーをお持ちください。
- 修理不可能なバッテリーは、自治体の規則に従って処分してください。
- バッテリーの寿命は限られています。
- バッテリーを火の中に投下しないでください。爆発のおそれがあります。
- 金属物質をバッテリーの端子に接触させないでください。火災のおそれがあります。
- ラジオの近くにチャージャーを置くと、ラジオの受信妨害のおそれがあります。チャージャーは、ラジオから最低1mは離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発信音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 充電後、電源ケーブルを家庭用コンセントから抜きます。
- チャージャーの端子とバッテリーのお手入れをしてください。

§ 特記事項


QuickTime

QuickTime およびQuickTimeロゴは、米国Apple Computer Inc.社の登録商標です。



廃棄処分

本機の高品質材料は再利用されます。本機は、一般の家庭のゴミとは個別に分類し、無料で地方自治体の収集場所に出すことができます。詳しい情報は、地方自治体にお問い合わせください。

バッテリーは、一般の家庭ごみとして処分することができません。お客様は、消費者として指定された収集場所でバッテリーを処分する義務があります。漏電を防ぐために、コンタクトにテープを張ってください。
有害物質を含むバッテリーには、以下の記号が記されています。

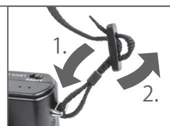
- Pb = バッテリーには鉛が含まれています。
- Cd = バッテリーにはカドニウムが含まれています。
- Hg = バッテリーには水銀が含まれています。
- Li = バッテリーにはリチウムが含まれています。

各部の名前




撮影モード


再生モード






スナップショットモード
自動撮影用


プログラムモード
自動露出撮影


絞り優先


シャッター優先


マニュアル露出


カスタム　1
事前登録設定　1


カスタム　2
事前登録設定　2

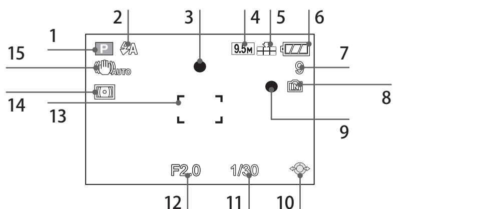

ムービー撮影のための
動画モード


シーンモード
シーンに基づいた撮影



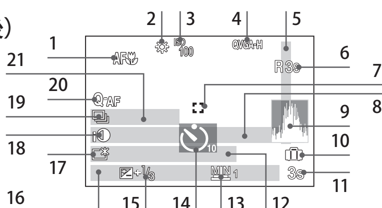
液晶モニターの表示

撮影時



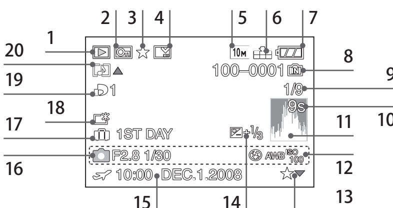
1 撮影モード	**6** バッテリー残量	**11** シャッタースピード
2 フラッシュモード	**7** 記録可能枚数	**12** 絞り値
3 フォーカス	**8** 内蔵メモリー	**13** AFエリア
4 記録画素数	**9** 記録動作	**14** 中央重点測光モード
5 クオリティ	**10** ジョイスティックナビゲーション	**15** 手ブレ補正

撮影時(各種設定後)



1 マクロモード	**8** 名前	**15** 露出補正
2 ホワイトバランス	**9** ヒストグラム表示	**16** 現在日時/旅行先設定(アイコン表示)
3 ISO 感度	**10** トラベル日付	**17** パワー LCD モード
4 カラーモード	**11** 記録経過時間	**18** 暗部補正
5 画質設定	**12** 年齢/場所	**19** 連続撮影モード
6 記録可能時間	**13** 下限シャッタースピード	**20** クイックAF
7 スポットAFエリア	**14** セルフタイマーモード	**21** 旅行日時

再生時



1 再生モード	**8** フォルダー/ファイル番号	**15** 現在日時/旅行先設定
2 プロテクト表示	**9** 画像番号/トータル枚数	**16** 絞り/シャッタースピード
3 お気に入り	**10** 動画記録時間	**17** 旅行日時
4 文字焼き込み済表示	**11** ヒストグラム表示	**18** パワー LCD モード
5 記録画素数	**12** 撮影情報	**19** DPOFプリントの枚数
6 クオリティ	**13** お気に入り設定	**20** 音声再生
7 バッテリー残量	**14** 露出補正	

液晶モニターについて

ディスプレイの変更

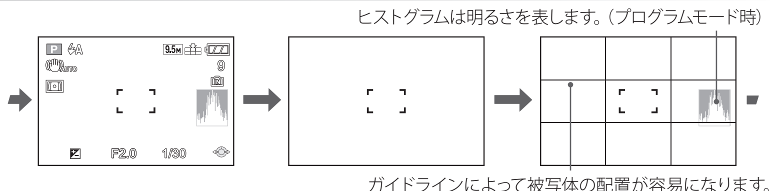
メニュー画面が表示されている間は使用できません。



[DISPLAY] ボタンを数回押します。

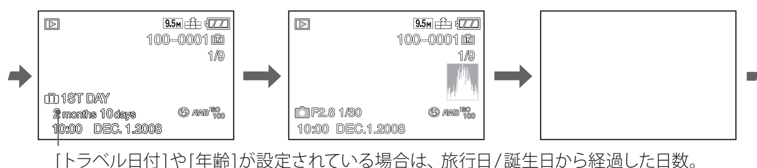
撮影モード中

ヒストグラムは明るさを表します。(プログラムモード時)



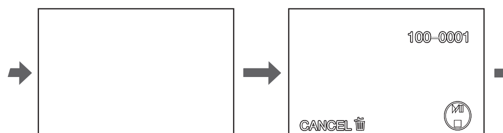
ガイドラインによって被写体の配置が容易になります。

再生モード中



[トラベル日付]や[年齢]が設定されている場合は、旅行日/誕生日から経過した日数。

スライドショーの間

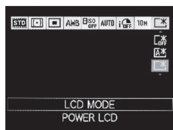


液晶モニターの明るさ調節

再生モードでは使用できません。



Q. MENUを押します。



LCD MODEを選択します。



Q. MENUを押します。

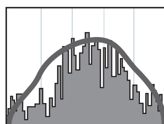
OFF	通常の明るさ
A	自動明るさ調整
	モニターが明るくなり、屋外でも見やすくなります。

ヒストグラムについて

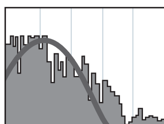
ヒストグラムは、(黒から白の) 横軸に沿って明るさを示し、縦軸で各明るさレベルでの画素数を示すグラフです。

このヒストグラムで、画像の露出を容易にチェックできます。

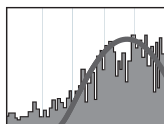
ヒストグラムの露出



適切な露出



露出不足



露出過剰







暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒント

- フラッシュ撮影や、暗い場所で撮影は、撮影された画像とヒストグラムが適合しないので、ヒストグラムはオレンジ色で表示されます。
- ヒストグラムは、撮影モードでは近似値となります。
- ヒストグラムは、撮影モードと再生モードでは一致しないことがあります。
- 本機で表示されるヒストグラムは、パソコンで使用される画像編集ソフトウェアに表示されるヒストグラムとは一致しません。
- ヒストグラムは、動画撮影モード時 [動画アイコン] と再生モード時 [再生アイコン] は表示されません。

ご使用の前に

1 付属品の内容

以下の内容がすべて付属されているかご確認ください。
付属品が足りない場合は、ご購入頂いた販売店にご連絡ください。

品名	タイプ	品番
バッテリー	BP-DC4-J	18646
バッテリーケース	―	423-068.801-012
バッテリーチャージャー	―	423-068.801-008
ストラップ	―	424-026.006-000
USB ケーブル	―	424-025.004-000
AV ケーブル	―	424-025.006-000
レンズキャップ	―	423-081.502-003
レンズキャップひも	―	423-081.501-005
キャプチャー ワン 4DVD	ソフトウェア	―

- カードはオプションでご購入いただけます。カードを使用しない場合は内蔵メモリーで撮影または再生ができます。
- SD メモリーカード、SHCD メモリーカード、マルチメディアカードは、本取扱説明書内でカードと表記します。

2 別売アクセサリー

品名	タイプ	品番
フラッシュ	CF 22	18 694
ビューファインダー	-	18 696
ハンドグリップ	-	18 697
コンポネントケーブル	CV-1 / CV-1J（日本）	18 692 / 18 693
レザーケース	ブラック / ブラウン	18 690 / 18 689
ACアダプター	ACA-DC4-JP	18642

- アクセサリーの使用方法については、各アクセサリー付属の取扱説明書を参照してください。

3 バッテリーを充電します。

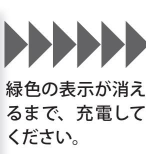
お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。



チャージャーを電源に接続します。
（写真は欧州仕様の例）



バッテリーを挿入します。
バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。



緑色の表示が消えるまで、充電してください。
（約120分後）



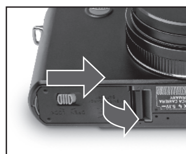
バッテリーを取り外します。

CIPA基準に準拠したバッテリーの寿命：
記録可能な画像枚数　380枚

- チャージャーを取り外します。
- バッテリーおよびカメラは、使用後または充電後にあたたかくなります。
- バッテリーは使い切っていなくても充電できます。
- 絶対にチャージャーを改造しないでください。
- 専用のチャージャーは、室内のみで使用してください。
- オプションのACアダプターが接続されても、バッテリーは充電されません。
- バッテリーの温度が高くなりすぎると、緑色の表示が点滅します。 充電時間が長くなります。

4 バッテリーを挿入します。

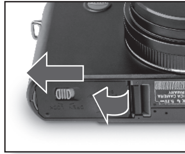
カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。



扉を開けます。



バッテリーを挿入します。
カチッと音がするまで挿入します。



扉を閉めます。
開閉レバーをロックします。

- 使用後は、バッテリーを取り外してください。
- 電源がONになっている間は、絶対にバッテリーの挿入および取り出しを行なわないでください。
- クリップのような金属物質を電源プラグのコンタクト周辺に放置しないでください。火災や感電がショートを起こしたり、熱が生じるおそれがあります。

ヒント

残量表示 

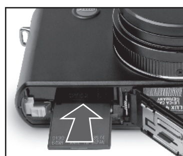
・残量表示は、液晶モニターに表示されます。バッテリー残量が少なくなると、残量表示が赤色で点滅します。バッテリーを充電するか、新しいバッテリーと交換してください。

・バッテリーを正しく充電したにも関わらずカメラの操作時間が極度に短くなった場合は、バッテリーの寿命切れです。新しいバッテリーを購入してください。

5 カードを挿入します。

カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。カードが挿入されていない場合は、一定数まで画像を内蔵メモリーに保存できます。


扉を開けます。


カードを挿入します。
カチッと音がするまで挿入します。


扉を閉めます。
開閉レバーをロックします。

- カードはオプションでご購入いただけます。
- カードの接続端子には決して触れないでください。カードを取り出すには、カチッと音がするまで押し、真っ直ぐに引き抜きます。
- 内蔵メモリーやカードは、電磁波や静電気、またはカメラやカードが壊れることによって損失を受けることがあります。大切なファイルは、パソコンなどに保存することをおすすめします。
- カードは、パソコンや他の機器でフォーマットしないでください。適切な動作を保証するために、本機でのみフォーマットしてください。
- 小さなお子様がカードを飲み込まないよう、お子様の手の届かないところで保管してください。

カードの種類	特徴
SD メモリーカード **(8 MB ～2GB)** FAT12/FAT16* フォーマット済み	・高速で記録および書き込みを行ないます。 ・書き込み防止スイッチ付き
SDHC メモリーカード **(4 GB ～ 32GB)** FAT32 フォーマット済み *	
マルチメディアカード	•静止画像のみ

*SD カードの基準に準拠したフォーマット

本機では、次の操作がおこなえます。

- カードが挿入されていない場合画像を内蔵メモリーに記録し、再生することができます。
- カードが挿入されている場合は、カードで画像の記録や再生ができます。
- 内蔵メモリーを使用している時（IN アクセス表示）
- カードを使用している時（ アクセス表示）



カードとカメラについての注意

動作表示ランプが点灯しているときは、カメラの電源をOFFにしたり、カードを抜いたり、ACアダプターを取り外したりしないでください。（画像を読み込んでいるときや削除中のとき、または内蔵メモリーやカードがフォーマットされている最中にランプは点灯します。）また、カメラに振動や衝撃を与えないでください。カードやカードに保存されたファイルが損傷し、カメラが正しく作動しなくなるおそれがあります。

6 言語、時刻、日付の設定



電源をONにし、📷モードに設定します。



[MENU/SET]ボタンを押してください。



繰り返して押します。

希望の項目を選択し、設定します。



[MENU/SET]ボタンを押してください。

時計を設定してから電源をOFFにしてください。

- カメラが再生モードでないことを確認してください。
- 時計設定を変更するには、[MENU SET]ボタンを押し、[時計設定]を選択します。
- フル充電したバッテリーを最低24時間カメラに入れたおくと、バッテリーを抜いても設定を3ヶ月間保持します。
- 時計は24時間システムで設定されます。
- 時計が設定されていないと写真に正確な日時がプリントされません。

旅行日を設定することもできます。

01 セットアップメニューから、[トラベル日付]を選択し、▶を押します。
02 [SET]を選択するには、▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
03 出発日を設定するには、▲▼◀▶を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
04 帰宅日を設定するには、▲▼◀▶を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
- 帰宅日を設定する必要がない場合は、[MENU/SET]ボタンをもう一度押します。

05 [MENU/SET]ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 旅行日の日にちの設定後は、電源を入れると、出発日から経過した日にちが約5秒間表示されます。
- 旅行日が設定されると、🧳が画面の右下に表示されます。

世界の時刻を設定することもできます。

01 セットアップメニューから、[ワールドタイム]を選択し、▶を押してください。
02 [ホーム]を選択するには、▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
03 [お住まいの地域]を選択するには、◀▶を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
04 [旅行先]を選択するには、▲を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
05 旅行先の地域を選ぶには◀▶を押し、[MENU/SET]ボタンを押してセットします。
06 [MENU/SET]ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- サマータイム☀🕐を使用するには▲を押します。（一時間進みます。）サマータイムを終了させるには、▲をもう一度押します。
- 旅行先で撮った写真を再生すると✈旅行先アイコンが表示されます。

ヒント

IN 内蔵メモリー

・メモリー容量: 約50 MB。
・記録できる動画:QVGA（320 x 240画素）のみ
・内蔵メモリーは、臨時用メモリーとして使用できます。
・記録画像をカードにコピーすることができます。
・内蔵メモリーのアクセス時間は、カードよりも長い場合があります。

スナップショットモード

カメラは自動的にシーン認識、手ブレ補正、インテリジェントISO、顔認識、クイックAF、暗部補正およびデジタル赤目軽減発光を設定します。

1 電源スイッチを ONにし、モードに設定します。

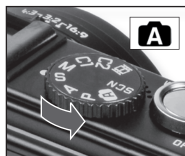
動作表示ランプが約1秒間点灯します。



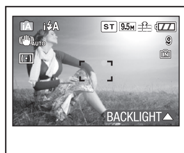
電源をONにし、モードに設定します。

2 モード を 選択し、カメラを被写体に向けます。

両手でカメラをしっかりと持ちます。



モード を選択します。



被写体にAFエリアを合わせます。

3 被写体にピントを合わせます。

ピントが合っていない場合 （点滅）
ピントが合っている場合 （点灯）

- 被写体のピント合わせに関する詳しい情報は、36ページを、[Q.MENU]については62ページを参照してください。



被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

4 シーン認識

カメラが特定のシーンを認識すると、対応するアイコンが左上に表示されます。

モードでは、自動的に5つのシーンが認識されます。これらのシーンモードのいずれも被写体に適していない場合、カメラは標準設定で記録します。



シーンの認識
例：インテリジェント人物モード

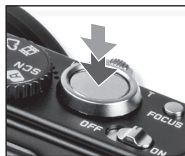
- インテリジェント人物モード
- インテリジェント風景モード
- インテリジェントマクロモード
- インテリジェント夜景＆人物モード [1]
- インテリジェント夜景モード [2]

1 フラッシュが⚡Aに設定されているときのみ
2 フラッシュが⊘に設定されているときのみ

● 人物シーンが認識されると、カメラは自動的に顔認識をし、焦点と露出を調節します。逆光補正の条件の下で顔が最適な明るさになるよう、露出が自動的に調整されます。
● 他の特定のシーンを撮影するには、適切なシーンモードで撮影することをおすすめします。

5 撮影

● 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
● 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
● シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像が表示されます。
画像が短時間表示されます。

P プログラムモード

スナップショットモードと比較すると、さらに多くのメニュー項目が使用できます。**詳しい情報については44 ページの[セットアップ] メニューおよび48ページの[撮影] メニューを参照して**ください。

1 電源スイッチを ONにし、📷 モードに設定します。

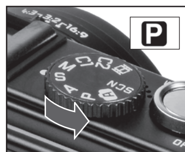
動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、📷
モードに設定します。

2 モード P を選択し、被写体にカメラを向けます。

両手でカメラをしっかりと持ちます。



モード P を選択します。



被写体に AF エリアを合わせます。

3 フラッシュを設定するか、ステップ4に従ってください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、42ページを参照してください。



フラッシュを開きます。



モードを選択します。
数回押します。

4 被写体にピントを合わせます。

設定を変更するには [Q.MENU] を押し、[オートフォーカスモード] を選択します。

ピントが合っていない場合　☀ ♩♩♩♩（点滅）
ピントが合っている場合　□ ⌜⌟ ● ♩♩（点灯）



カメラを被写体に向け、シャッターボタンを半押しします。

- 被写体のピントの合わせ方については36ページを、さまざまなオートフォーカス設定に関しては52 ページを、[Q.MENU]については62ページを参照してください。

5 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
- 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
- シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像の表示
画像が短時間表示されます。

A 絞り優先

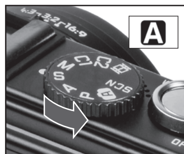
背景までピントを合わせたいときには絞り値を大きく、背景をぼかしたいときには絞り値を小さく設定してください。遅めのシャッタースピードで撮影する際は三脚の使用をおすすめします。
詳しい情報については44 ページの［セットアップ］メニューおよび48 ページの［撮影］メニューを参照してください。

1 電源スイッチをONにし、モードスイッチを に、モードダイヤルを Aに設定します。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、 モードに設定します。



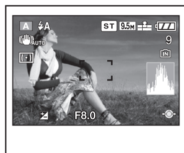
モード A を選択します。

2 被写体にカメラを向け、絞り値を調整します。

- 背景までピントを合わせたいときには絞り値を大きな値に設定します。
- 背景をぼかしたいときには絞り値を小さい値に設定します。
- 正しいシャッタースピードは自動的に設定されます。



絞り値を▲▼で設定します。



被写体にAFエリアを合わせます。
現在の絞り値が表示されます。

3 フラッシュを設定するか、ステップ4に従ってください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、42ページを参照してください。



フラッシュを開きます。



モードを選択します。
数回押します。

4 被写体にピントを合わせます。

設定を変更するには [Q.MENU] を押し、[オートフォーカスモード] を選択します。

ピントが合っていない場合 （点滅）
ピントが合っている場合 （点灯）



カメラを被写体に向け、シャッターボタンを半押しします。

- 被写体のピントの合わせ方については36ページを、さまざまなオートフォーカス設定に関しては52ページを、[Q.MENU] については62ページを参照してください。

5 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
- 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
- シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像の表示
画像が短時間表示されます。

S シャッター優先

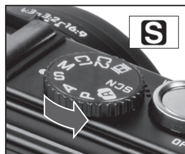
動きの速い被写体を止まった状態で撮影したい場合にはシャッタースピードを速めに設定します。遅めのシャッタースピードで撮影する際は三脚の使用をおすすめします。
詳しい情報については44 ページの［セットアップ］メニューおよび48 ページの［撮影］メニューを参照してください。

1 電源スイッチをONにし、モードスイッチを 📷 に、モードダイヤルを S に設定します。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、📷 モードに設定します。



モード S を選択します。

2 シャッタースピードを選択し、被写体にカメラを向けます。

- 被写体の動きを表現したい場合には、シャッタースピードを遅めに設定します。
- 被写体の動きを止めて撮影したい場合にはシャッタースピードを速めに設定します。
- 正しい絞り値は自動的に設定されます。



シャッタースピードを▲▼で設定します。



被写体にAFエリアを合わせます。
現在のシャッタースピードが表示されます。

3 フラッシュを設定するか、ステップ4に従ってください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、42ページを参照してください。



フラッシュを開きます。



モードを選択します。
数回押します。

4 被写体にピントを合わせます。

設定を変更するには [Q.MENU] を押し、[オートフォーカスモード] を選択します。

ピントが合っていない場合 ♩♩♩♩（点滅）
ピントが合っている場合 ● ♩♩（点灯）



カメラを被写体に向け、シャッターボタンを半押しします。

- 被写体のピントの合わせ方については36ページを、さまざまな オートフォーカス設定に関しては52ページを、[Q.MENU] については62ページを参照してください。

5 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
- 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
- シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像の表示
画像が短時間表示されます。

S マニュアル露出

マニュアルで絞り値およびシャッタースピードを設定することによって露出を決定します。 遅めのシャッタースピードで撮影する際は三脚の使用をおすすめします。

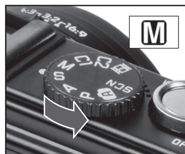
詳しい情報については44 ページの [セットアップ] メニューおよび48 ページの[撮影] メニューを参照してください。

1 電源スイッチをONにし、📷 モードダイヤルを M に設定します。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、📷 モードに設定します。



モード M を選択します。

2 シャッタースピードを選択し、被写体にカメラを向けます。

- 露出アシストを見るには、シャッターボタンを半押しします。



- 0ポジションにするために、シャッタースピードと絞り値を設定します。



シャッタースピードと絞り値を▲▼◀▶で設定します。



被写体にAFエリアを合わせます。
現在の値が表示されます。

3 フラッシュを設定するか、ステップ4に従ってください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、42ページを参照してください。



フラッシュを開きます。



モードを選択します。
数回押します。

4 被写体にピントを合わせます。

設定を変更するには [Q.MENU] を押し、[オートフォーカスモード] を選択します。

ピントが合っていない場合	♩♩♩♩	（点滅）
ピントが合っている場合	● ♩♩	（点灯）



カメラを被写体に向け、シャッターボタンを半押しします。

- 被写体のピントの合わせ方については 36 ページを、さまざまな オートフォーカス設定に関しては 52 ページを、[Q.MENU] については 62 ページを参照してください。

5 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
- 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
- シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像の表示
画像が短時間表示されます。



動画モード

撮影を開始すると、焦点設定、ズームと絞り値が固定されます。音声は同時に内蔵マイクで録音されます。

1 モードに設定し、電源を ONにします。

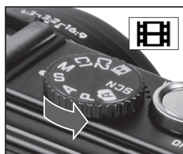
動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、モードに設定します。

2 モードを選択し、被写体にカメラを向けます。

両手でカメラをしっかりと持ちます。



モードを選択します。



被写体にAFエリアを合わせます。

3 アスペクト比と画質を選択するか、ステップ4に従ってください。

横縦比4:3 または 16:9 を設定します。



横縦比を設定します。

1. [MENU/SET] ボタンを押してください。
2. [画像設定] を選択するには、▼を押します。
3. ▶を押し、▲▼を押してクオリティを選択します。
4. [MENU/SET] ボタンを押してください。

画像横縦比設定	クオリティ	記録画素数	コマ数 / 秒
画像横縦比設定4:3を選択した場合			
	VGA[1]	640 x 480 画素	30
	QVGA-H	320 x 240 画素	30
	QVGA-L		10
画像横縦比設定16:9を選択した場合			
	HD[1]	1280 x 720 画素	24
	WVGA[1]	848 x 480 画素	30

* 内蔵メモリーへの記録はできません。

ヒント

- 本機で撮影された動画を他の器材で再生すると、画質や音質が劣化したり、再生できないことがあります。記録した情報が正しく表示されないこともあります。
- [動画撮影モード] では追尾AF、顔認識AF、縦位置検出機能、レビュー、手ブレ補正機能の [Mode2] と [AUTO] は使えません。
- 撮影中のファイルフォーマットはQuickTime Motion JPEGです。

4 被写体にピントを合わせます。

可能な撮影時間が右上に表示されます。
記録経過時間は右下に表示されます。

ピントが合っていない場合 ♩♩♩♩（点滅）
ピントが合っている場合 ♩♩（点灯）

- 被写体のピント合わせに関する詳しい情報は、36ページを参照してください。



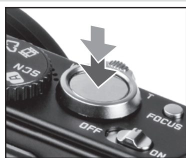
被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

5 撮影の開始と停止

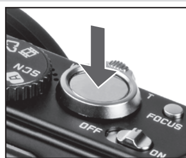
● メモリーカードの書き込み速度が極度に遅くなると、撮影は停止します。

● 動画は連続して2GBまで撮影できます。

● 高画質モードで撮影する時は10 MB/sまたはそれ以上のカードを使用してください。



撮影開始
シャッターボタンを全押しします。



撮影停止
シャッターボタンを再び全押しします。

記録された動画を見る

1 ▶ モードに設定し、電源をONにします。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。



▶ モードを選択します。



スイッチをONにします。

2 動画の選択

- パソコンで動画を再生するには、QuickTimeが必要です。QuickTimeは以下のURLから入手できます。

www.apple.com/quicktime/download



◀▶を押して動画を選択します。



動画を再生するには▲を押します。



動画コントロール



音量コントロール

動画の再生中に各ボタンを押して再生/一時停止(1)、停止(2)、早戻し (3)、早送り (4) ができます (3と4は、画像が停止している場合はフレームごと)。ズームレバーを使用すると、ボリュームレベルを下げたり (5)、上げたり (6) できます。

SCN シーンモード

特定のシチュエーションに適したシーンモードで撮影できます。選択すると、カメラは最適な露出と色合いを設定します。

1 電源をONにし、[カメラ] モードに設定します。

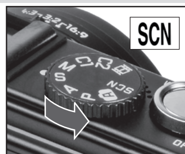
動作表示ランプが約1秒間点灯します。



電源をONにし、[カメラ] モードに設定します。

2 SCN モードを選択し、被写体にカメラを向けます。

両手でカメラをしっかりと持ちます。



SCN モードを選択します。



被写体にAFエリアを合わせます。

3 シーンモードを選択するか、次の項目に従ってください。

1. メニューを開くには、[MENU/SET] ボタン を押します。
2. [シーンモード] へ移動するには、▼を押してください。
3. ▲▼▲▼を押してシーンを選択します。
4. [MENU/SET] ボタンを押して確定します。

4 被写体にピントを合わせます。

ピントが合っていない場合 (点滅)
ピントが合っている場合 (点灯)

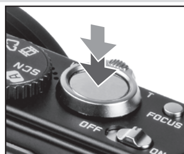
- 被写体のピントの合わせ方については36ページを、さまざまな オートフォーカスに関しては52 ページを、[Q.MENU]については62ページを参照してください。



被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

5 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
- 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
- シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像が表示されます。

ヒント

- SCN モード メニュー中で [DISPLAY] を押すと各シーンについての説明が見られます。[DISPLAY] をもう一度押すと、終了します。
- 選択したシーンモードによって、次の設定のいくつかは固定されることがあります。ホワイトバランスは変更できません。フラッシュは強制的にOFFとなります。ヒストグラムはオレンジ色で表示されます。AF補助光は無効になります。セルフタイマーは設定できません。[ISO感度] と[カラーモード] の設定ができません。

人　物

顔色を鮮明に写します。できるだけ T側(望遠) にするとより効果が出ます。

- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

美　肌

人の顔など肌色のエリアを検出し、肌の表面をなめらかに撮影します。できるだけT側 (望遠) にするとより効果が出ます。

- 背景や他の部分が皮膚の色に類似していると、この部分もなめらかになります。
- このモードは、十分な明るさがないと効果的ではありません。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

自分撮り

セルフポートレートの撮影は、広角[W]で 2秒セルフタイマーで撮影することをおすすめします。

1. ピントを合わせるにはシャッターボタンを半押しします。ピントが合うとカメラ前面のセルフタイマーランプが点灯します。撮影するにはカメラをしっかり持ち、シャッターボタンを全押しします。
2. セルフタイマーランプが点滅しているときはピントが合っていません。シャッターボタンをもう一度半押ししてピントを合わせます。
3. 撮影した画像は確認のため、自動的に液晶モニターに表示されます。
4. シャッタースピードが遅すぎて写真がぼやける場合は、2秒セルフタイマーを使用することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は 30 cm ～ 70 cm です。
- セルフポートレートを音声付きで撮影することもできます。この場合、音声の録音中にセルフタイマーランプが点灯します。
- ズームは自動的に広角 [W]へ移動します。
- セルフタイマーの設定はOFF、または2秒のみ設定できます。2秒に設定すると、この設定は電源をOFFにするか、シーンモードを変更するか、[撮影]モードまたは [再生] モードを選択するまで保持されます。
- 手ブレ補正機能は、[MODE2]に設定されます。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

風　景

広がりのある異風景を撮影できます。オートフォーカスは、5 mから∞までです。

スポーツ

シャッタースピードを上げて被写体の動きを止めます。明るい日中の写真撮影をおすすめします。

- 5 m 以上離れた被写体を撮影するのに適したモードです。
- [インテリジェント ISO]が有効になると、最大ISOは ISO800になります。

夜景＆人物

カメラをしっかり持ち、被写体の人に撮影中はなるべく動かないように伝えてください。

- フラッシュを使用します。 が設定できます。
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 撮影時に広角([W端]) にズームレバーを回して被写体から約 1.5 m 離れて撮影することをおすすめします。
- ピントが合う範囲は 1.2 m ～ 5 m です。
- シャッターは信号処理のため、撮影後に(最大約1秒)閉じたままになることがあります。これは故障ではありません。
- 暗い場所で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

夜景

夜景撮影に使用します。シャッタースピードは最大8秒まで設定ができます。必ず三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

- 8秒のシャッタースピードになるのは、手ブレ補正機能OFF時、または手ブレ補正機能がONでほとんどブレを感知していない場合です。
- ピントが合う範囲は5 m以上です。
- シャッターは信号処理のため、撮影後に(最大約8秒)閉じたままになることがあります。これは故障ではありません。
- 暗い場所で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

料理

料理の撮影に最適なモードです。フラッシュなしでの撮影をおすすめします。

- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。(マクロ)/1cm (W端時) /30cm (T端時) ～ ∞

パーティ

屋内で照明下でもより自然な色に撮影できます。

- フラッシュを使用します。 または に設定します。
- 撮影には三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 撮影時に広角(W端) にズームレバーを回して被写体から約 1.5 m は離れてください。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

キャンドル

ろうそくの光の雰囲気をいかした写真を撮影できます。撮影には三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

フラッシュを使用せずに撮影すると効果的です。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。(マクロ)/1cm(W端時) /30cm(T端時) ～ ∞
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

赤ちゃん 1/2

赤ちゃんの撮影に適しています。誕生日を設定すると、年齢を表示できます。

一人目の赤ちゃん [赤ちゃん 1]と二人目の赤ちゃん [赤ちゃん 2]の誕生日と名前をそれぞれ設定できます。再生時に年齢を表示させるか、[文字焼き込み]を使用して撮影した画像に文字を焼き込むかを選択できます。

誕生日と名前の設定

1. [月齢/年齢]を選択するためには▲▼を押し､▶を押します。
2. [設定]を選択するには、▲▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
3. ▲▼◀▶を使って誕生日を入力します。
4. [MENU/SET]ボタンを押して終了します。
5. 名前を追加するにはステップ 1に戻り、[名前]を選択します。

[月齢/年齢]または[名前]を取り消す

誕生日と名前の設定のステップ2で[OFF] を選択します。

- フラッシュは、通常よりも弱めになります。
- 誕生日または名前が設定されると、[月齢/年齢]または[名前]が自動的に [ON]に設定されます。
- 誕生日または名前が設定されていない状態で[ON]が選択されると 、自動的に設定画面が表示されます。
- 誕生日または名前が設定されていて[月齢/年齢] または[名前] が [OFF] になると、年齢または名前が表示されません。
- カメラが[赤ちゃん 1]/[赤ちゃん 2] をセットした状態で電源ONになると、年齢と名前は現在の日付と時間とともに、およそ5秒間画面の左下に表示されます。

- 年齢が正しく表示されない場合は、時計と誕生日が正しく設定されているかを点検してください。
- 誕生日と名前の設定は、[RESET]を選択するとリセットできます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W端時）/30cm（T端時）～∞
- [インテリジェント ISO]が有効になると、最大ISOは ISO400になります。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

 ペット

ペットの撮影に適しています。誕生日を設定すると、年齢を表示できます。

[ペット]の機能は[赤ちゃん1/2]と同様です。 [赤ちゃん 1/2]を参考にしてください。
- AF補助光の初期設定は [OFF]になっています。
- [インテリジェント ISO]が有効になり、最大ISOは ISO800になります。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

 夕焼け

夕焼けの撮影に使用します。赤色を強く鮮やかに撮影できます。

 高感度

特に屋内の撮影では、より高いISO感度によって被写体のブレをおさえて撮影できます。

1. 画素数および横縦比設定を選択するには▲▼ を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
2. 撮影します。
- [クオリティ] は自動的に に固定されます。
- 10 x 15 cm 程度の大きさで印刷に適した画質で撮影できます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W端時）/30cm（T端時）～∞

 高速連写

連続撮影によって、決定的瞬間を撮影できます。

1. ▲▼を押して横縦比と画素数を選択し、[MENU/SET]ボタンを押します。
2. 撮影します。シャッターボタンを押している間撮影されます。

最高連写速度	約6枚/秒
記録可能な画像枚数	約35枚（内蔵メモリー使用時）/約35 ～ 100枚（カード使用時） 最高 100枚

- 連写速度は撮影条件によって異なります。
- 連写 撮影 画像の記録数は、撮影条件や使用するカードのタイプや状態によって異なります。
- 最大連写可能枚数はカードをフォーマットすると増加する場合があります。
- [クオリティ] は自動的に に設定されます。
- 10 x 15 cm 程度の大きさで印刷に適した画質で撮影できます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W端時）/30cm（T端時）～∞
- フォーカス、ズーム、露出、シャッタースピード、ISO感度は最初の画像で設定されます。
- ISO感度は自動的にISO500 ～ ISO800の間で切り替わります。シャッタースピードを速くするために、ISO感度を上げます。



フラッシュ連写

フラッシュを使って5枚まで連続撮影ができます。

1. 画素数および画像横縦比設定を選択するには▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. シャッターボタンを押さえ続けると5枚までの連写ができます。
   - 連写速度は撮影条件によって異なります。
   - [クオリティ] は自動的にに設定されます。
   - 10 x 15 cm 程度の大きさで印刷に適した画質で撮影できます。
   - ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W端時）/30cm（T端時）～∞
   - フォーカス、ズーム、露出、シャッタースピード、ISO感度およびフラッシュレベルは、最初の画像で設定されます。
   - ISO感度は自動的にISO100～ISO3200の間で切り替わります。

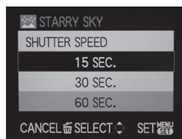


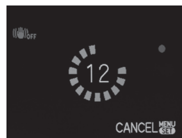
星空

星空のように特に暗い被写体の撮影ができます。撮影には三脚の使用をおすすめします。

シャッタースピード設定

1. シャッタースピードを選択するには、▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。





- 撮影が開始されるとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- カウントダウン画面の表示中に撮影を停止するには、[MENU/SET] ボタン を押します。
- 手ブレ補正は [OFF] に設定されます。
- ISO 感度は ISO100 に設定されます。



花火

花火を撮影するために使用します。花火が上がったら、シャッターボタンを押します。三脚の使用をおすすめします。

- 10 m 以上離れている被写体を撮影するのに最も適したモードです。
- シャッタースピードは次のとおりです。
- 手ブレ補正が [OFF] に設定されている場合：2秒に設定されます。
- 手ブレ補正が [MODE1] または [MODE2] に設定されている場合：1/4秒または2秒（三脚使用時などのようにほとんどゆれがないと判断した時のみ、シャッタースピードは2秒になります。）
- 露出補正によって、シャッタースピードを変えることができます。
- AF エリアは表示されません。
- ISO 感度は ISO100 に設定されます。



ビーチ

ビーチでの撮影に使用します。強い日差しの下でも人物が暗くならずに撮影できます。

- [オートフォーカスモード] の初期設定は です。
- ぬれた手でカメラに触らないでください。
- 砂や海水はカメラの故障の原因になります。カメラのレンズや端子に砂や海水が付いていないか、確認してください。
- 砂や海水でカメラが故障した場合は、保証の対象にはならないのでご注意ください。



雪

雪を撮影するために使用します。実際の雪の白さを再現するために露出とホワイトバランスが設定されます。



空撮

機内の窓からの撮影に使用します。飛行機の離着陸の際は、電源をOFFにしてください。

雲などを撮影する際にピントを合わせることが難しい場合は、コントラストの強い物体にカメラを向けてシャッターボタンを半押しにしてピントを合わせてから被写体にカメラを向け、シャッターボタンを全押しして撮影することをおすすめします。



ピンホール

被写体の周囲を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。

1. 画素数および画像横縦比を選択するには▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。
   - [クオリティ] は自動的にに設定されます。
   - 10 x 15 cm 程度の大きさで印刷に適した画質で撮影できます。
   - ISO 感度は ISO1600 に設定されます。
   - ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W 端時）/30cm（T 端時）～∞



サンドブラスト

ザラザラ感のある写真が撮影できます。

1. 画素数および画像横縦比を選択するには▲▼ を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。
   - [クオリティ]は自動的にに設定されます。
   - 10 x 15 cm 程度の大きさで印刷に適した画質で撮影できます。
   - ISO 感度は ISO1600 に設定されます。
   - ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/1cm（W 端時）/30cm（T 端時）～∞

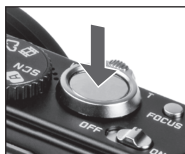
セルフタイマー

タイマーは2秒または10秒に設定できます。ピントを合わせるにはシャッターボタンを半押しします。

- SCN モードでの撮影可能枚数[連写]では3枚、[フラッシュ連写]で5枚です。
- A モードでは、セルフタイマーは2秒に設定することができません。
- SCNモードの[自分撮り]では、セルフタイマーは10秒に設定することができません。
- SCNモードの[高速連写]と、動画モードではセルフタイマーは使えません。



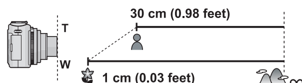
セルフタイマーを設定するには◀を押します。



スタートするにはシャッターボタンを全押しします。

マクロモード

最短1cmまで被写体に近づいて撮影できます。



マクロモードでは、AFが表示されます。キャンセルするにはスイッチを AF またはMF に再度設定します。



スイッチをマクロモードに設定します。

- マクロ撮影には三脚とセルフタイマーの使用をおすすめします。
- 焦点は、カメラに近い被写体が優先されます。
- フラッシュを に設定します。

オートフォーカス [AF]

ピントが合う範囲は50 cm ～∞です。

下記のような状況ではオートフォーカスが正常に動作しない場合があります。
- 動きが速すぎる、または明るすぎる
- コントラストに乏しい
- 窓の後ろにある被写体
- 暗闇にある、または動いている
- 近すぎる



オートフォーカスをAFに設定します。

■AFエリア外の被写体を撮影する。

1. AFエリアを被写体に向け、ピントと露出を合わせるためにシャッターボタンを半押しします。
2. シャッターボタンの半押しを保ったまま、画像の構図を決めるためにカメラを動かします。

1.


2.


- フォーカースおよび露出をロックするために、AF/AE ロックボタンを使用することができます。ロックを解除するには、AF/AE ロックボタンを再度押します。53ページの[AF/AE ロック] も参照してください。
- 納得のいく結果が得られるまでステップ1を繰り返してから、シャッターボタンを全押しします。

マニュアルフォーカス[MF]

MF操作中、画面にMFアシストとフォーカス距離バーが表示されます。（SET UPメニューでMF1またはMF2が選択されている場合。）

- ジョイスティックを操作しない場合は、2 秒後にMFアシストは消えます。
- ジョイスティックを操作しない場合、5 秒後にフォーカス距離バー表示は消えます。

MFアシストは次の操作によって中央位置に戻ります。
- フォーカスをオートフォーカスモードへ切り替える。
- ワンショットAFを使用する。
- 記録画素数または画像横縦比を変更する。
- カメラの電源を切る。

マニュアルフォーカス[MF]

1. ジョイスティックを▲▼に押してフォーカスします。
2. 同じ方向にもう少し動かします。
3. ジョイスティックを反対方向に傾け、被写体にピントを当てます。



オートフォーカスをマニュアルフォーカスMFに設定します。



▲▼でフォーカスします。

ズームエリアの変更と移動

1. MFアシストが表示されている間に▲▼◀▶を押します。
2. [MENU/SET]ボタン を押して確定します。

ワンショットAF

フォーカス選択スイッチで[MF]を選択し、[FOCUS]を押すとオートフォーカスでピントを合わせられます。



オートフォーカスをマニュアルフォーカスMFに設定します。



被写体をプレフォーカスするには [FOCUS] を押します。

詳細情報は、45ページの [MF アシスト] モードを参照してください。

- 動画モードでマニュアルフォーカスを使用することもできますが、撮影中にフォーカスは調節できません。
- 広角で被写体にピントを合わせ、ズームレバーを動かすと十分にピントが合わないことがあります。この場合は再度被写体にピントを合わせてください。
- デジタルズームを使用すると、MFアシストは表示されません。
- マニュアルフォーカスで画面に表示される被写体への距離は、フォーカス位置からの大よその距離です。フォーカスをチェックするには、MF アシストを使用します。
- パワーセーブから復帰したときは、再度ピントを合わせ直してください。

撮影する - 高度な機能 II

オートブラケット

設定された範囲で露出を変えながら、自動的に3枚の画像を撮影します。

- フラッシュは にセットされます。
- 電源を切ると機能はキャンセルされます。
- と SCNモードの ではオートブラケットは無効です。



露出補正ボタンを [オートブラケット]が出るまで繰り返し押します。



補正範囲を設定します。
繰り返して押します。

オートブラケットとマルチアスペクトは同時に設定することができません。

マルチアスペクト

シャッターボタンを一度押すと自動的に4：3、3：2と16：9の横縦比で3枚の画像を撮影します。

- [DISPLAY] を押してオートブラケットとマルチアスペクトを切り替えます。
- 電源を切ると機能はキャンセルされます。



[オートブラケット]を選択し、[DISPLAY] を押します。



[ON]を選択します。

オートブラケットとマルチアスペクトは同時に設定することができません。

露出補正

被写体と背景の間に明るさの差があり、正しく露出できないときに使用します。

- 電源をOFFにしても、露出値は保存されます。



[露出補正]を選択
繰り返して押します。



補正
繰り返して押します。

フラッシュ発光量調整

被写体が小さいものの場合や、反射率が非常に高いまたは低いものの場合にはフラッシュ発光量を調整します。

- フラッシュ発光量値が画面の左上に表示されます。
- 電源をOFFにしても、フラッシュ発光量設定は保存されます。



露出補正ボタンを フラッシュ発光量調節が出るまで繰り返し押します。



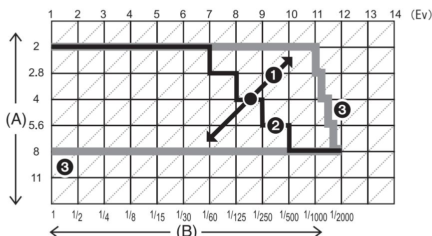
発光量を設定します。◀▶ボタンで発光量を調節します。[MENU/SET] で設定を完了/終了します。

プログラムシフト

プログラムAEモードで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを同じ露出のままで変えることができます

プログラムAEモードでの撮影時に、より背景をぼかしたい（絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする) などの設定が可能です。

1. シャッターボタンを半押しします。
2. ジョイスティックを上下に傾けてプログラムシフトを調節します。
3. プログラムシフトアイコン、絞り値、シャッター速度が表示されます。
4. プログラムシフトをキャンセルするには、電源を[OFF]にするかプログラムシフト表示が消えるまでジョイスティックを上下に傾けてください。



A: 絞り値
B: シャッタースピード
1: プログラムシフト量
2: プログラムシフトラインチャート
3: プログラムシフトリミット

- シャッターボタンを半押しした時に、露出が十分でないと、絞り値とシャッタースピードが赤色に変わります。
- プログラムシフトが有効になってから10秒以経過すると、プログラムシフトが設定可能な状態はキャンセルされ、カメラは通常のAEモードに戻ります。その場合でも、プログラムシフト設定は記憶されます。
- 被写体の明るさによってプログラムシフトは設定できない場合があります。

連続撮影モード

シャッターボタンが押されている間、連続して画像が撮影します。撮影後、お気に入りの画像を選んでください。



/ を押す。



連写モードを選択メニューを表示させ▲/▼でモードを選んでください。[MENU/SET] で設定します。シャッターボタン半押しでも設定できます。

		[OFF]	(標準)	(フリー連写)
連写速度(枚/秒)		–	2.5 1	約2枚
記録可能な画像枚数		–	最大4枚	内蔵メモリーまたはカードの空き容量によります。
		–	最大8枚	
	RAW	–	最大3枚	最大3枚
	RAW	–		
	RAW	–		

[1] 連写速度はカードの転送スピードに関係なく一定です。

- 上記の連写速度はシャッタースピードが60分の1より速い設定で、フラッシュを発光させない場合のみ有効です。
- 連写モードが無制限に設定されると連写速度は半分程度に落ちます。正確なタイミングはカードの種類、記録画素数およびクオリティによって異なります。メモリーまたはカードの容量がなくなるまで撮影できます。
- ピントは最初に撮影された画像で固定されます。
- 連写速度が ,に設定されると、露出とホワイトバランスは最初の写真の設定が適応されます。その後の画像も同様です。連写速度が に設定されると、1枚ごとに調整されます。
- セルフタイマーを使用すると、連写モードでの記録可能な画像枚数は3枚になります。
- 日向、日陰などで明るさの差のあるところを動く被写体を撮影する場合は、露出が安定するまで時間がかかる場合があります。また、このときに連写を行うと最適な正しい露出で撮影されない場合があります。
- 連写速度 (枚数/秒) は、暗い場所やISO感度が高い場合など撮影環境によって遅くなることがあります。
- 電源がOFFになっても連写モードはキャンセルされません。
- 内蔵メモリーを使って連写モードで撮影すると、画像の記録に時間がかかります。
- 連写モードが設定されると、フラッシュは に設定されます。
- 連写モードが設定されると、オートブラケット、マルチアスペクトおよび [マルチフィルム] 設定が解除されます。
- 外付けフラッシュを使用すると、連写モードの撮影枚数は3枚に設定されます。

i 絞り値およびシャッタースピード

各モードでは下記の絞り値及びシャッタースピードが設定可能です。

1 S シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード　(秒)- (1/3EV 刻み)				絞り値
8	6	5	4	F2.0 ～ 8.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/3000	1/1600	1/2000	-	

2 A 絞り優先 AE

設定可能な絞り値　(1/3EV 刻み)			シャッタースピード　(秒)
F8.0			8 ～ 1/2000
F7.1	F6.3	F5.6	
F5.0	F4.5	F4.0	
F3.5	F3.2	F2.8	
F2.5	F2.2	F2.0	

3 M マニュアル露出

設定可能な絞り値 (1/3EV 刻み)	設定可能なシャッタースピード (秒)- (1/3EV 刻み)
F2.0 ～ F8.0	60 ～ 1/2000

- 上の表中の絞り値は、ズーム W 端にしたときの値です。
- ズーム位置によっては選択できない絞り値があります。



フラッシュを使って撮る

フラッシュを開くには⚡OPENスイッチをスライドさせてください。フラッシュを閉じるには、カチッという音がするまでフラッシュを下に押します。

フラッシュモードを選択します。



- フラッシュが閉じている間は、フラッシュ設定は ⊗ に固定されます。
- 使用できるフラッシュの設定は、撮影モードによって異なります。
- 赤目軽減を設定すると、人の瞳が赤く写る(赤目現象) のを抑えるためフラッシュは2度発光します。2度目の発光が終わるまで被写体が動かないようにご注意ください。
- 電源がOFFになっても、フラッシュモードの設定は保存されます。
- SCN モードでは、シーンモードを変更すると、初期設定に戻ります。

⚡を繰り返し押します。▲/▼でも選ぶことができます。[MENU/SET] で設定されます。シャッターボタン半押しでも設定できます。

シャッタースピード（秒）



オート発光　1/30 ～ 1/2000

撮影状況に応じて、必要な場合は自動的に発光します。



赤目軽減オート発光　1/30 ～ 1/2000

暗い場所で人物撮影をするときなどに適しています。



強制発光　1/30 ～ 1/2000

常時発光します。逆光での撮影、または蛍光灯下などでの撮影時に適しています。



赤目軽減スローシンクロ　1 ～ 1/2000

夜景など暗い背景の前などで人物撮影を撮影する時に適しています。



赤目軽減強制発光　1/30 ～ 1/2000

SCN モード[パーティ]、[キャンドル]時のみ設定できます。



発光禁止

どのような撮影状況でもフラッシュは発光されません。フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

ISO感度別フラッシュ到達距離

	W端時	T端時
AUTO発光	約80cm ～ 8.3m	約30cm ～ 5.9m
[ISO80]	約80cm ～ 2.3m	約30cm ～ 1.6m
[ISO100]	約80cm ～ 2.6m	約30cm ～ 1.8m
[ISO200]	約80cm ～ 3.7m	約30cm ～ 2.6m
[ISO400]	約80cm ～ 5.3m	約40cm ～ 3.7m
[ISO800]	約80cm ～ 7.4m	約60cm ～ 5.3m
[ISO1600]	約1.15m ～ 10.6m	約90cm ～ 7.5m
[ISO3200]	約1.60m ～ 14.9m	約1.3m ～ 10.7m

SCNモードの[高感度]でISO感度はISO1600からISO6400の間で自動的に切り替わり、フラッシュ到達距離も異なります。

各撮影モードで可能なフラッシュ設定

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
A	○[1]	—	—	—	—	○
P	○	○	○	○	—	○
A	○	○	○	○	—	○
S	○	○	○	—	—	○
M	○	○	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	●	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	●	○	○
	—	—	—	○	●	○
1	○	●	○	—	—	○
2	○	●	○	—	—	○
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	—	—	●	—	—	—
	—	—	—	—	—	●
	—	—	—	—	—	●
	—	—	●	—	—	○
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	●	—	○	—	—	○

- 被写体に近すぎるところで発光させると、フラッシュの熱または光によって被写体が変形、変色するおそれがあります。
- フラッシュ到達距離を超えて撮影すると、適正な露出が得られず画像が暗くなることがあります。
- フラッシュ充電中はフラッシュアイコンが赤く点滅し、撮影することができません。
- 被写体に対して発光レベルが十分でないと、ホワイトバランスが正しく補正できない場合があります。
- シャッタースピードが速いと、十分な発光効果が得られません。
- 繰り返し撮影すると、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減効果は、個人差があります。カメラから被写体が離れすぎていたり、最初の発光を見ていなかった場合、はっきりとした効果が得られないおそれがあります。

○ 使用できます。
— 使用できません。
● シーンモード初期設定

1 ⚡A が選択されていると i⚡A、i⚡A◎ または i⚡S◎ が被写体と明るさに応じて自動的に設定されます。



セットアップメニュー

1 セットアップメニューを選択します。

設定を選択します。



2



時計設定

日付と時間を変更します。



ワールドタイム　　= 旅行先の地域　= お住まいの地域

ホームエリアと旅行先の時間を設定します。



トラベル日付　[トラベル日付設定] - [旅行先]

[トラベル日付設定]　[OFF] - [SET]　・旅行の出発日と帰宅日を設定します。
[旅　　行　　先]　[OFF] - [SET]　・旅行先情報をテキストで入力します。



操作音　[OFF] - - - -

[操 作 音 音 量]　・希望の音量に操作音音量を設定します。
[操　作　音　色]　・希望の操作音色を選択します。
[シャッター音量]　・希望の音量にシャッターを設定します。
[シャッター音色]　・希望のシャッター音色を選択します。



スピーカー音量

スピーカー音量を7段階で調節します。



カスタム セット登録

カスタム設定は4つまで登録できます。撮影モードのみに有効です。



Fn ボタン設定

▼ボタンに[撮影] メニューを割り当てます。頻繁に使用する[撮影] メニューを登録すると便利です。



液晶明るさ

液晶モニターの明るさを7段階で調節をします。



LCDモード　[OFF] - A✱ - ✱

[OFF] = LCD 通常設定

A✱ [オートパワー LCD] = 明るさが自動で調整されます。

✱ [パワー LCD] = LCD がより明るく、また見やすくなります。

- [パワー LCD] モードでは 30 秒間なにも操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと再び明るくなります。
- [オートパワー LCD] と [パワー LCD] モードでは、記録可能画像枚数が減少します。



ガイドライン表示　[撮影情報] - [パターン]

[撮影情報]　[OFF] - [ON]

ガイドライン表示時に合わせて撮影情報を表示するかどうかを設定します。

[パターン]

撮影時のフレーミング、構成、整列に役立つ様々なガイドラインを表示します。

- [パターン] はスナップショットモードでは に固定されます。



ヒストグラム表示　[OFF] - [ON]

このヒストグラムで、画像の露出を容易にチェックできます。



ハイライト表示

オートレビューまたはレビュー時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

- 白飛びが起こっている場合は、露出をマイナスに補正します。
- フラッシュで撮影するときにカメラと被写体の距離が近すぎると白飛びの起こる場合があります。

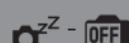


MF アシスト　[OFF] - [MF1] - [MF2]

マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくするために、画面の中央部を拡大します。

[OFF]
[MF1] = 画面の中央が拡大されます。
[MF2] = 画面の中央が画面一杯に拡大されます。



エコモード　

[パワーセーブ]　[OFF] - [2 分]- [5 分]- [10 分]

設定時間が過ぎると自動的に液晶モニターを消します。

[自動液晶 OFF]　[OFF] - [15 秒] - [30 秒]

設定時間が過ぎると自動的に液晶モニターの電源を切ります。

- 液晶モニターの消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるにはいずれかのボタンを押します。



オートレビュー　[OFF] - [1秒] - [2秒]- [ホールド] - [ズーム]

撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
[ＯＦＦ] = 撮影画像は表示されません。
[1秒]-[2秒] = 撮影後に撮影画像が1秒、もしくは2秒表示されます。
[ホールド] = 撮影画像は、いずれかのボタンを押すまで表示されます。
[ズーム] = 撮影画像は1秒表示され、その後4倍に拡大され、さらに1秒表示されます。



番号リセット

フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。

- フォルダー番号は100 ～ 999まで作成されます。フォルダー番号が999になると、番号がリセットできなくなります。PCまたはその他のデバイスにファイルを保存してからカードをフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を100にリセットするには、内蔵メモリーまたはカードをフォーマットしてから、この機能を使ってファイル番号をリセットします。その後フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選択してフォルダー番号をリセットします。



設定リセット　[撮影設定] - [セットアップ設定]

撮影設定またはセットアップ設定を初期設定に戻します。

- フォルダー番号および時計の設定は変更されません。
- 撮影中に [設定リセット] が選択されると、レンズのリセットも実行されます。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。



USB モード 

USB接続ケーブル（付属）を使う際のカメラからの画像取り込み方法を設定します。
[接続時に設定] = 接続時にPCまたはPictBridge（PTP）のいずれかを選択します。
[PictBridge（PTP）] = PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。
[PC] = パソコンに接続する場合に設定します。

- [PC] に設定するとUSBのmass storage通信方式で接続されます。[PictBridge(PTP)]に設定するとUSBの PTP（Picture Transfer Protocol）通信方式で接続されます。



ビデオ出力　[NTSC] - [PAL]

各国のカラーテレビシステムに合わせて設定します。（再生モードのみ）

- AV ケーブルが接続されていないと機能しません。75 ページを参照してください。

・[NTSC]：日本やアメリカなど
・[PAL]：ヨーロッパなど



TV　画面タイプ　16:9 - 4:3

TVの種類に合わせて設定します。（再生モードのみ）

- AV ケーブルが接続されていないと機能しません。75 ページを参照してください。



m/ft表示　[m] - [ft]

マニュアルフォーカス時のフォーカス距離や撮影可能範囲表示単位（メートルまたはフィート）を選択します。



シーンメニュー　[OFF] - [AUTO]

シーンモードが選択されたときに表示される画面を設定します。

[ＯＦＦ] = 現在選択されているシーンモードの撮影画面が表示されます。
[AUTO] = シーンモードのメニュー画面が表示されます。



バージョン表示

カメラのファームウェアのバージョンを確認できます。



フォーマット

内蔵メモリーまたはカードのフォーマットをします。フォーマット後は、データを元に戻すことができませんので、フォーマットの前にはよく確認してください。

- フォーマットするときは、十分残量のあるバッテリー、またはＡＣアダプターを使用してください。フォーマットの最中に電源を切らないでください。
- カードが挿入されている場合は、カードのみがフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを取り出してください。
- パソコンまたはその他の機器でカードをフォーマットした場合も、本機でもう一度フォーマットしてください。
- 内蔵メモリーのフォーマットはカードよりも時間がかかることがあります。
- 内蔵メモリーまたはカードがフォーマットできない場合は、最寄のサービスセンターにお問い合わせください。



言語設定

画面表示をする言語を設定します。

- 誤って設定した場合は、メニューアイコンの を選択して言語を設定してください。



デモモード　[手ブレ・動き検出デモ] - [自動デモ]

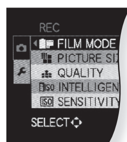
機能デモンストレーションを見ます。

撮影メニュー

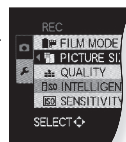
1 撮影メニューを選択します。

設定を選択します。









2



フィルムモード ST - D - NA - S - V - N - ST B&W - D B&W - S B&W - MY1 - MY2 -

フィルムカメラで様々なフィルムを使用して個性を楽しむように、画像の色調を9種類から選択できます。

- ST [標準][1] = 標準的な設定です。
- D [ダイナミック][1] = 色の彩度およびコントラストが強まります。
- NA [ネイチャー] = 赤、緑、青が明るめになり、自然を美しく写せます。
- S [スムーズ][1] = コントラスト低め、穏やかですっきりとした設定です。
- V [バイブラント] = ダイナミックよりも彩度とコントラストが高めになります。
- N [ノスタルジック] = 彩度・コントラストが低めになります。
- ST B&W [スタンダードBW][1] = 白黒の標準的な設定です。
- D B&W [ダイナミック BW] = コントラストが高めの白黒設定です。
- S B&W [スムーズBW] = 肌の質感を損なうことなく画像をソフトにします。
- MY1 [MY FILM 1] = 登録されたフィルムを呼び出します。
- MY2 [MY FILM 2] = 登録されたフィルムを呼び出します。
- [マルチフィルム] = 一回の撮影で、最大3種類のフィルム設定で記録できます。

[1]この項目は でも設定できます。

フィルムモード設定の調節

1. フィルムモードを選択するために◀▶を押します。
2. 項目を選択するために▲▼を押し、◀▶で調節します。
   - 電源がOFFになっても設定は保存されます。
3. [MY FILM登録] を選択するには、▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
4. [MY FILM 1] または [MY FILM 2] を選択するために▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
5. メニューを閉じるには、[MENU/SET] ボタン を押します。

コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭が強調されます。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	+	画像の彩度が高くなります。
	-	画像の彩度が低くなります。
ノイズリダクション	+	ノイズリダクション効果を強くします。
	-	ノイズリダクション効果を弱くします。

マルチフィルム設定の調節

1. マルチフィルムを選択するために◀▶を押します。
2. マルチフィルムを1～3まで選択するために▲▼を押し、◀▶でフィルムモードを設定します。
   - シャッターボタンを一度押すと自動的に選択した枚数の画像が(最大3つまで) 撮影されます。
   - フィルムモードでは特有の画質を生成するため、増感、減感に相当する処理を行う場合があります。その際、シャッタースピードは通常と異なる場合があります。
   - 暗い場所で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。



記録画素数　[10M] - [7M] - [5M] - [3M] - [2M] - [0.3M]

希望の記録画素数を設定します。画素数が大きい程、大きく印刷しても鮮明な画像になります。

画像横縦比 4:3	記録画素数	画像横縦比 3:2	記録画素数	画像横縦比 16:9	記録画素数
10M	3648x2736	9.5M	3776x2520	9M	3968x2240
7M EZ	3072x2304[1]	6.5M EZ	3168x2112[1]	6M EZ	3328x1872[1]
5M EZ	2560x1920	4.5M EZ	2656x1768	4.5M EZ	2784x1568
3M EZ	2048x1536	3M EZ	2112x1408[1]	2.5M EZ	2208x1248[1]
2M EZ	1600x1200[1]	2.5M EZ	2048x1360	2M EZ	1920x1080
0.3M EZ	640x480				

[1] この項目は A モードでは設定できません。

- アスペクト比を変更したら記録画素数を 再度設定してください。
- EX 光学ズームは、シーンモードの [高感度]、[高速連写]、[フラッシュ連写]、[ピンホール] または [サンドブラスト] では働きませんので、EZ は表示されません。
- EZ は 'EX 光学ズーム' の略です。
- 画像は被写体と撮影状態によってモザイク状で現れることがあります。



画質設定　 動画モードのみでアクセスできます。

画素数が多い程、より鮮明な動画が撮影できます。

横縦比設定	クオリティ	記録画素数	fps
	横縦比設定 4:3 を選択した場合		
	VGA[1]	640 x 480 画素	30
	QVGA	320 x 240 画素	30
	QVGA		10
	横縦比設定 16:9 を選択した場合		
	HD[1]	1280 x 720 画素	24
	WVGA[1]	848 x 480 画素	30

[1] 内蔵メモリーへの記録はできません。



クオリティ　[ファイン] - [スタンダード] - RAW - RAW+ファイン - RAW+スタンダード

画像保存時の圧縮率を設定します。

[ファイン] = 画質優先となります。

[スタンダード] = 画像の記録可能数を優先します。

RAW [RAW][1] = パソコンで画像を高画質で加工したいときに設定します。

[RAW+JPEG] = [RAW] と [ファイン] を同時に撮影します。

[RAW+JPEG] = [RAW] と [スタンダード] を同時に撮影します。

[1] 各横縦比で上限記録画素数に設定されます。

- RAW画像は内蔵メモリーに記録するのに時間がかかります。
- カメラからRAW ファイルを削除するとそれに相応するJPEGイメージも同様に削除されます。
- RAWファイルを使用すると詳細な画像編集が可能になります。
- 画質が, [RAW], [RAW+ファイン] または [RAW+スタンダード] に設定されている場合は、[EX光学ズーム]、[デジタルズーム]、[マルチアスペクト]、[音声録音] は設定することができません。



インテリジェント ISO　[OFF] - [ON]

被写体のブレを減少させるために、カメラは自動的に最適なISO感度とシャッタースピードを設定します。

- [ISO感度上限設定] を [ON] に設定すると最大感度上限が設定されます。[ISO感度上限設定] が [AUTO] に設定されると明るさによって自動的に [ISO800] までの範囲内で設定されます。



ISO 感度　[AUTO] - [80] - [100] - [200] - [400] - [800] - [1600] - [3200]

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

- [AUTO] に設定すると、ISO感度は [ISO感度上限設定] で設定された範囲で自動的に調節されます。
- [インテリジェント ISO] iISO が設定されていると使用できません。



ISO 感度上限設定　[AUTO] - [200] - [400] - [800] - [1600] - [3200]

被写体の明るさに応じて、設定した数値を上限として最適なISO感度を設定します。

- 高い ISO 感度を設定すると、画像のブレは抑えられますがノイズが増えます。
- [ISO感度] が [AUTO] に設定されるか [インテリジェント ISO] が [ON] の場合に有効になります。



ホワイトバランス　AWB - 晴天 - 曇り - 日陰 - フラッシュ - 白熱灯 - 1 - 2 - SET K

撮影時の光源に応じて、最適な設定を行うことにより自然な色で画像を撮影できます。

AWB 自動補正

 野外、晴天

 野外、曇り

 野外、日陰

 フラッシュのみ

 白熱灯

 あらかじめセットしている設定を使用

 あらかじめセットしている設定を使用

 あらかじめセットしている色温度設定を使用





[ホワイトバランス補正] を選択

数回押します。



ホワイトバランスを補正します。

数回押します。

オートホワイトバランス:

ホワイトバランスが自動で補正されます。 複数の光源が存在したり、画面に白い部分が無い場合、オートホワイトバランスは適切に機能しないことがあります。 このような場合はホワイトバランスをAWB以外のモードに設定してください。

ホワイトバランスをマニュアルで調節する:

1. 1 または 2 を選び ▶を押します。
2. 本機を白い紙に向けます。画面中央にの枠内に白いものだけが写るように、[MENU/SET] ボタンを押します。

ホワイトバランスの微調整WB±:

1. [ホワイトバランス] を選択し、▶を押します。
   - 1, 2 または SET K が選択されている場合は、▶をもう一度押します。
2. ▲ (緑)、▼ (マゼンタ)、◀ (アンバー)、▶ (青) を押してホワイトバランスを補正し、[MENU/SET] ボタンを押します。

色温度を設定する:

1. SET K を選択し▶を押します。
2. ▲▼を押して、2500Kまたは10000K を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
   - 蛍光灯は種類によって最適なホワイトバランスが異なります。AWBまたはマニュアルホワイトバランス設定をお使いください。
   - 電源がOFFになっても、ホワイトバランスは保存されます。
   - ホワイトバランス微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
   - ホワイトバランスを微調整しない場合は中心点を選んでください。
   - 各ホワイトバランスは独立して微調整が可能です。



測光モード 

明るさを測る測光方式を変更することができます。

(•) 複　数 カメラは、自動的に明るさの配分を判断することによって最も適当な露出を測定します。この方法をおすすめします。

( ) 中央重点 画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。

• スポット スポット測光範囲にある被写体を測定する方法です。

- (•) が選択され [オートフォーカスモード] を 顔 にセットすると、カメラは人の顔に適した露出を設定します。



オートフォーカスモード 

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

顔認識[1]	人の顔を自動的に検知してピントを合わせます。
追尾AF	指定した被写体にピントを合わせます。被写体が動いても追尾します。
マルチ	AFエリア毎に最大5点までピントを合わせることができます。
1点高速[2]	AFエリア内に高速ピントを合わせます。
1点	AFエリア内にピントを合わせます。
スポット	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

追尾AFを使う

1. 被写体を追尾AFフレームにあわせ、[AF/AE LOCK]を押します。
   - 被写体が認識されるとAFエリアは被写体の動きに連続的にピントをあわせます。(ダイナミックトラッキング)
   - [AF/AE LOCK] を再度押すと、追尾AFは終了します。
2. 撮影します。
   - ロックに失敗したときはAFエリアが赤く点滅して消えます。
   - シーンモードの[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、動画、フィルムモードの白黒では追尾AFは選択できません。
   - 被写体が小さすぎたり、動きが速かったり、カメラが振動している場合、撮影場所が暗い、または被写体が背後の色と同じ、あるいは類似した色である場合、ダイナミックトラッキングは機能しないことがあります。

AFエリアの選択:

1点高速, 1点 または スポット が選択されている場合

1. ▲▼◀▶ を押してAFエリアを移動します。
   - 画面の任意の位置を設定できます。(画面の端を設定することはできません。)
2. [MENU/SET] ボタン を押して確定します。

マルチ が選択されている場合

1. ▲▼◀▶を押してAFエリアを選択します。
2. [MENU/SET] ボタン を押して確定します。
   - スポットを使うと、測光範囲もAFエリアに合わせて移動することができます。
   - 以下の操作を行うと、AFエリアは元の位置に戻ります。モードダイヤルをスナップショットモードに設定したとき。 パワーセーブモードが有効になったとき。 カメラの電源がOFFになったとき。

[1] 被写体の状況によっては、顔認識が機能しないことがあります。

[1] 以下の場合 [オートフォーカスモード] は ▦M に切り替わります。

- 顔をカメラに向けていないとき。
- 顔がある角度のとき。
- 顔が明るすぎたり暗すぎるとき。
- 顔のコントラストがほとんどないとき。
- サングラスなどで顔の特徴が隠れているとき。
- 顔が画面上で小さく見えるとき。
- 素早く動いているとき。
- 被写体が人ではないとき。
- カメラが動いているとき。
- デジタルズームを使用したとき。

[2] その他のオートフォーカスモードよりも素早く被写体にピントを合わせることができます。

[2] シャッターボタンを半押しすると、画像はピントが合う前ににしばらく停止することがあります。 これは故障ではありません。

- 複数のAFエリア (最大5点) が同時に明るくなると、カメラはすべてのAFエリアにピントが合っています特定の位置にピントを合わせたい場合は、オートフォーカスモードを ▣H, ▣ または ⊡. に切り替えます。
- オートフォーカスモードが ▦M に設定されると焦点が合うまでAF範囲は表示されません。
- スポットAFでピントが合いにくい場合は、1点高速AFまたは1点AFをご使用ください。
- スポットＡＦモードでピントが合いにくい場合は、1点高速AFまたは1点AFをご使用ください。
- カメラは人の顔以外の被写体を正しく認識しないことがあります。 この場合は、オートフォーカスモードを 以外のモードに切り替え撮影してください。
- SCN モードの[花火]ではオートフォーカスモードを設定することはできません。
- 次の場合は、 に設定することができません。SCN モードの[夜景]、[料理]、[星空]、[空撮] 🎞 モード



プリAF [OFF] - Q-AF - C-AF

設定によってカメラは自動でピントを調節します。

Q-AF カメラの振動がわずかな時に自動でピントを調整します。

C-AF 常にピントを調整します。（連続AF操作）

- バッテリーは通常よりも早く消費されます。
- 被写体にピントを合わせるのが難しいときはシャッターボタンを再度半押しします。
- 広角から望遠までズームレバーを回転させたり、突然被写体を遠くのものから近くのものに変更するとピント合わせに時間がかかることがあります。



AF/AE ロック [AF] - [AE] - [AF/AE]

被写体がAFエリアにあるとき、または、コントラストが大きく適切に露出できないときに、あらかじめピントと露出をセットすることができます。

[A F] フォーカスのみがロックされ AF-L が表示されます。

[A E] 露出のみがロックされ AF-L が表示されます。

[AF/AE] フォーカスおよび露出がロックされ AE-L が表示されます。

- AE ロックは M モードでは使用できません。
- [AF/AE]を選択し、AFロックに失敗した場合はAEロックはできません。
- [AF]では被写体の明るさが変わっても露出は固定されます。
- AEがロックされていてもシャッターボタンを半押しすれば、被写体は再びフォーカスすることができます。



暗部補正　[OFF] - [弱] - [中] - [強]

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、状況に合わせてコントラストや露出を自動的に調節します。

- [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。
- [弱]、[中]、[強]が選択されると、i◐ が表示されます。
- ISO感度がISO80やISO100の時でも、暗部補正が有効時はISO感度がISO80やISO100より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては補正効果が得られないことがあります。
- [暗部補正]有効時には、暗部補正のアイコンが黄色になります。



多重露出

1枚の画像に2回または3回露光を行ったような効果が得られます。

1. [開始] を選択し、[MENU/SET]ボタンを押します。
2. 構図を決め最初の画像を撮影します。
   - 撮影後、次の撮影のためにシャッターボタンを半押しします。
   - ▲▼で項目を選択し、[MENU/SET]ボタンを押して次の操作を選択します。

     [次の撮影]: 次の画像に移動します。
     [撮り直し]: 最初の画像に戻ります。
     [完了]: 最初の画像を記録し、多重露出撮影を完了します。
3. 構図を決め2番目の画像を撮影します。
   - 撮影後、最初と2枚目の画像は重ねて表示されます。
   - 撮影後、次の撮影のためにシャッターボタンを半押しします。
   - ▲▼で項目を選択し、[MENU/SET]ボタンを押して 次の操作を選択します。

     [次の撮影]: 次の画像に移動します。
     [撮り直し]: 最初の画像に戻ります。
     [完了]: 最初の画像を記録し、多重露出撮影を完了します。
4. 構図を決め3番目の画像を撮影します。
   - 撮影後、最初と2枚目および3枚目の画像は重ねて表示されます。
5. [完了]を選択するには、▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
   - シャッターボタンを半押しして終了することもできます。
   - 3枚目の画像まで記録され、多重露光撮影は終了します。

さらに任意でステップ1で[自動ゲイン補正] を設定することができます。

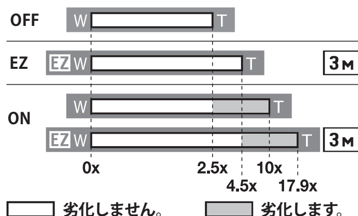
[ON]: 各画像ごとに明るさが調節されます。
[OFF]: すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。

- 完了するまで画像は記録されません。
- 多重露光で撮影した画像の記録情報は、最後に撮影した画像の情報です。
- [MENU/SET]ボタン を撮影中に押すと撮影されたイメージが記録され、多重露光は完了します。
- 連写モード、[オートブラケット]、[マルチアスペクト]、EX光学ズームおよびデジタルズームは使用できません。



デジタルズーム [OFF] - [ON]

光学ズーム、またはEX光学ズームよりも被写体を拡大できます。





ズームを設定する

EX光学ズーム EZ の仕組み

例えば300万画素に設定するとCCDの持つ1010万画素の領域のうち、300画素分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

- デジタルズームは A モードでは設定できません。
- 光学ズームの最大位置でズーム表示は一度停止することがあります。ズームレバーを望遠[T]に回し続けることでデジタル範囲を決定できます。
- 拡大レベルは[記録画素数]と[画像横縦比]によって異なります。
- 電源が切れると、ズームは広角[W]に設定されます。
- 被写体にピントを合わせた後ズームを使用し、再度被写体にピントを合わせます。
- ズーム位置によってレンズが伸び縮みします。ズームレバーを動かしている間、レンズの動きを妨げないよう注意してください。
- デジタルズームを使用すると、[手ブレ補正]は効きにくくなることがあります。
- デジタルズームを使った撮影の際は三脚とセルフタイマーを使用することをおすすめします。



手ブレ補正モード [OFF] - [AUTO]-[MODE1] - [MODE2]

撮影時の手ブレを感知し、カメラを自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

[OFF] = 手ブレ補正がOffになっています。

[AUTO] = 撮影状況に応じて最適な補正を行ないます。

[MODE1] = 手ブレは つねに撮影モードで補正されます。

[MODE2] = シャッターボタンを押すと 手ブレが補正されます。

- 以下の場合手ブレ補正が効きにくくなることがあります。手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき、デジタルズーム領域、動きのある被写体を追いながら撮影するとき、シャッタースピードが遅いとき。
- SCNモードの[自分撮り]では[MODE2]に固定され、SCNモードの[星空]では[OFF]に固定されます。
- Aモードでは[OFF]に設定することができません。
- 動画モードでは[AUTO]または[MODE2]は設定できません。

MIN 下限シャッタースピード　[1/250] - [1/125] - [1/60] - [1/30] - [1/15] - [1/8] - [1/4] - [1/2] - [1]

[下限シャッタースピード] を遅く設定すると暗い場所で画像を明るく撮影できます。画像がぼやけないように速度を早めに設定することもできます。

下限シャッタースピード設定	1/250	◀▶	1
明るさ	暗め		明るめ
手ブレ	少なめ		多め

- 通常 は1/8に設定してお使いください。1/8以外を設定した場合、下限 MIN が画面に表示されます。
- [下限シャッタースピード] の設定によって画像が暗めになることがあります。正しく露出できない場合は、シャッターボタンを半押しすると MINが赤く点滅します。



音声記録　[OFF] - [ON]

画像と同時に音声を録音できます。写真撮影の会話や音声メモとして録音できます。

[OFF] = 音声は録音されません。

[O N] = 撮影と同時に音声が5秒間録音されます。

- 音声録音をキャンセルするには、録音中に [MENU/SET] ボタン を押します。
- 音声は内蔵マイクで録音されます。

AF✳ AF補助光　[OFF] - [ON]

撮影時場所が暗く、ピントが合いにくい時に、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

[OFF] = AF補助光は点灯しません。

[O N] = シャッターボタンを半押しするとAF補助光が点灯します。

- AF補助光の有効範囲は1.5 m です。
- 暗闇での動物の撮影などでAF補助光を使用したくない場合は、[AF補助光] を [OFF] にしてください。この場合、被写体にピントが合いずらくなります。



フラッシュ シンクロ　[先幕] - [後幕]

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターで撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

[先幕] = フラッシュで撮影する標準モード

[後幕] = 光源が被写体の背後に現れます。

- 通常は [先幕] に設定します。[フラッシュシンクロ] を [後幕] に設定すると、[2nd] が液晶画面に表示されます。
- 速いシャッタースピードを設定すると、十分な効果が得られない場合があります。
- [フラッシュシンクロ] は外部フラッシュで使用することもできます。



外部 ファインダー [OFF] - [ON]

液晶モニターを別売りの外部光学ファインダー使用時に適した表示に切り換えることができます。

[OFF] = 通常設定。

[O N]

- 液晶モニターは消灯しますが、フォーカス表示やフラッシュ充電表示などは点灯します。
- 外部ファインダーを使用しないときは [OFF] に設定します。
- オートフォーカスモードの初期設定は [■] になります。



時計設定

年月日と時間を設定します。セットアップメニューの [時計設定] と同様の機能です。

C½ カスタムモード

カメラ設定は4つのカスタム設定を登録できます。C1またはC2にダイヤルを設定し、メニュー設定を選択します。

1 セットアップメニューを選択します。



設定を選択します。

2 カスタム設定を確定します。

カスタム設定**C1**と**C2**

C1	**C2**
	C2-1
C1	*C2-2*
	C2-3

- **C1**は1つのカスタム設定が可能です。
- **C2**は3つのカスタム設定が可能です。
- 次の項目はその他の撮影モードに影響するため設定することができません。

-[時計設定]

-[トラベル日付]

-[シーンメニュー]

-[設定リセット]

-[番号リセット]

-[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2] または [ペット] モードの誕生日と名前



[カスタム セット登録]を選択します。



▶を押して移動します。



C1、C2-1、C2-2 または C2-3を選択します。



[MENU/SET]ボタンを押して確定します。



[はい]を選択するには▲を押します。



[MENU/SET]ボタン を押して確定します。



メニューを閉じるには、[MENU/SET]ボタン を押します。

C½ カスタムモード

撮影条件にあったカスタム設定を選択することができます。

1 電源をONにし、📷 モードに設定します。

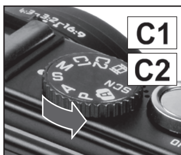
動作表示ランプが約1秒間点灯します。



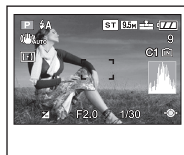
電源をONにし、📷 モードに設定します。

2 C1またはC2を選択し被写体にカメラを向けます。

両手でカメラをしっかりと持ちます。



モード C1,C2 を選択します



被写体に合わせてAFエリアを合わせます。

3 C2モードを選択した場合は、希望の設定を選択します。

[DISPLAY] を押してメニュー設定と選択画面を切り替えます。



設定を選択するには▲▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。



[MENU/SET]ボタンを押して設定画面を開きます。

4 被写体にピントを合わせます。

ピントが合っていない場合 ☀ ♩♩♩♩（点滅）
ピントが合っている場合 ▭ ⌜⌟ ● ♩♩ （点灯）

- 被写体のピントの合わせ方については36ページを、さまざまなオートフォーカス設定に関しては52ページを、[Q.MENU]については62ページを参照してください。



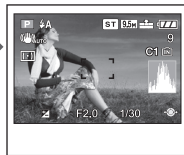
被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

5 撮影

● 設定によって縦で撮影された画像は回転して表示されます。
● 手ブレ警告表示が表示されたら三脚の使用をおすすめします。
● シャッターボタンを押すとき、露出状況によってはモニターが明るくなったり、暗くなったりする場合があります。



シャッターボタンを全押しします。



画像表示



画像と動画の再生

1 電源をONにし、▶ モードに設定します。

最初の画像が[通常再生]モードで表示されます。



スイッチをONにします。



▶モードを選択します。

2 画像を見ます。

サイズの選択

- モニターに1枚ずつ画像を表示（初期設定）
- モニターに12枚ずつ画像を表示
- モニターに30枚ずつ画像を表示
- 撮影日ごとに表示(カレンダーモード)



表示モードを選択します。
繰り返して押します。



画像を選択するには ▲▼ ◀▶ を押します。

3 画像の拡大

可能な拡大倍率
1x - 2x - 4x - 8x - 16x



ズーム倍率を選択します。
繰り返して押します。



位置を移動するには▲▼ ◀▶ を押します。

- さまざまな再生モードについては、63 ページの[再生モード]を参照してください。

4 動画の再生

- パソコンで動画を再生するには、QuickTimeが必要です。QuickTimeは以下のURLから入手できます。

www.apple.com/quicktime/download



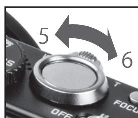
◀▶を押して動画を選択します。



動画を再生するには▲を押します。



動画コントロール



音量コントロール

動画の再生中に各ボタンを押して再生/一時停止(1)、停止(2)、早戻し(3)、早送り (4) ができます（3と4は、画像が停止している場合はフレームごと)。ズームレバーを使用すると、ボリュームレベルを下げたり (5)、上げたり (6) できます。



データの削除

データの削除



繰り返して押します。

削除の仕方を選択します。

- 1枚削除
- 複数削除
- 全画像削除

1. [1枚削除]、[複数削除] または [全画像削除]を▲▼で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. [1枚削除] モードは現在の画像、または動画を削除します。
   - [複数削除] モードは、▲▼◀▶ を押して画像または動画を選択するか [DISPLAY] ボタンを押してマークします。選択された画像は でマークされます。
   - [全画像削除] モードでは、全ての画像または動画が削除されます。★マークしたお気に入り画像を削除するかどうか決めることができます。
3. [MENU/SET] ボタンを押します。
4. [はい]を選択し、[MENU/SET] ボタンで押します。

- 削除中 が表示されている間は電源をOFFにしないでください。十分残量のあるバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
- [複数削除]、[全画像削除] または[★以外全画像削除]を使い画像を削除している間に[MENU/SET] ボタン を押すと 削除は途中で停止します。
- 削除する画像枚数によって削除に時間がかかることがあります。
- 画像が DCF 基準に準拠していない場合、またはプロテクトされている場合は[全画像削除]または[★以外全画像削除] を選択しても削除されません。

動画から静止画像を作成する。

1. 動画再生中に、画像を作成したいコマで▲を押して一時停止状態にします。
2. ◀▶を押して1コマごとに選択するか、[MENU/SET] ボタンを押して9コマ画面を選択します。
   - 9コマ表示中に 3コマ進めるには▲▼ を押します。
   - 9コマ表示中に1コマ進めるには◀▶を押します。
   - 9コマ表示中、1秒あたりの表示コマ数を変更するにはズームレバーを広角 [W] の方へ動かします。

30fps VGA - 30fps QVGA - 30fps HD - 30fps WVGA	30 - 15 - 10 - 5 コマ/秒
10fps QVGA	10 - 5 コマ/秒

   - 9 コマ表示を終了するには [MENU/SET] ボタンを押します。
3. シャッターボタンを押します。
4. ▲を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。

QUICK クイックメニュー

これらの設定のその他の情報に関しては[セットアップ]または[撮影]メニューで該当項目をご覧ください。



[Q.MENU] を使うと撮影の設定をより素早く変更できます。各撮影モードで変更可能なもののうち、重要度の高いものが表示されます。ジョイスティックでも設定可能です。

	[撮影メニュー]	[セットアップメニュー]
AF TRACKING OFF	**A スナップショットモード** [記録画素数]	[LCDモード]
LCD MODE POWER LCD	**P プログラムモード** **A 絞り優先** **S シャッター優先** **M マニュアル露出** [フィルムモード] [測光モード] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス] [インテリジェント ISO] [ISO感度] [暗部補正] [記録画素数]	[LCDモード]
LCD MODE POWER LCD	**SCN シーンモード** [手ブレ補正モード] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス](一部) [記録画素数]	[LCDモード]
LCD MODE POWER LCD	**動画モード** [手ブレ補正モード] [測光モード] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス] [画質設定]	[LCDモード]



再生モードメニュー

1

再生モードメニューを選択します。



設定を選択します。



2



通常再生

通常再生モードで画像や動画を見ます。

1. ◀▶を押して画像を選択します。
   - 動画または音声を再生するには▲を押します。
   - 画像または動画のお気に入りにをマークするには▼を押します。
   [再生]メニューの[お気に入り]を[ON]にセットしてください。
2. 再生を終了するには、モードスイッチを撮影 に設定してください。

2画面再生

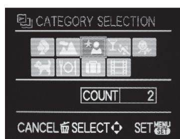
2つの画像を表示して、画面上で比較できます。

1. [MENU/SET]ボタンを押して[2画面再生]に移動します。
   - 画像が1枚以下の場合は選択できません。
2. 画像を選択します。
   - 上の画像には▲ を押し、◀▶ で画像を選択します。
   - 下の画像には▼ を押し、◀▶ で画像を選択します。
   - 望遠 [T] でズームして画像を拡大します。
   - 広角 [W] で画像を縮小します。
3. [MENU/SET]ボタン を押して終了し、通常再生に戻ります。
   - 倍率が変更されると、ズーム位置表示が約1秒表示され、▲▼◀▶を押すと拡大部分を移動できます。
   - 2画面再生では同時に同じ画像を表示することはできません。
   - を押すと2画面再生中に選択した画像を削除できます。
   - [回転表示] が [ON]に設定されると、カメラを縦方向にして撮影した画像、または回転された画像が縦方向に表示されます。



スライドショー　[全画像] - [カテゴリー選択] - [お気に入り]

BGMとエフェクト付きのスライドショーを再生できます。この機能は、動画には対応していません。



1. [MENU/SET]ボタンを押して [スライドショー]に移動します。
2. ▲▼を押して再生方法を選択します。
   - [全画像] = 記録された画像を全て再生します。
   - [カテゴリー選択] = 特定のカテゴリーに記録された画像を再生します。画像が見つからないカテゴリーは暗く表示されます。その後選択したカテゴリーの画像枚数が表示されます。
   - [お気に入り] = お気に入りとして記録された画像を全て再生します。
3. スライドショーの種類を選択して [MENU/SET]ボタン を押します。
4. スライドショー設定を▲▼を押して設定するか、ステップ5に従ってください。
   - [効果] = 画面エフェクトまたは音楽を選択します。
   - [設定] = 再生間隔、リピート、音声を設定します。
5. 開始を選択して [MENU/SET]ボタンを押します。
6. スライドショーを終了するには▼を押します。
   - 動画はスライドショーとして再生できません。
   - 新しい音楽効果を加えることはできません。



スライドショー [設定]

[効果]　[ナチュラル]、[スロー]、[スイング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- これらの効果はそれぞれ異なる音声と画面効果を使用します。
- [アーバン]画像は白黒で表示されます。
- [おまかせ] は [カテゴリー選択] が選択されている場合にのみ使用できます。各画像は各カテゴリーの初期設定された効果で再生されます。

[設定]

[再生間隔] = 1、2、3、または5秒間で設定できます。
[リピート] = [ON]または[OFF]に設定してください。
[音楽]/[音声] = 音楽/音声を[ON]または[OFF]に設定してください。

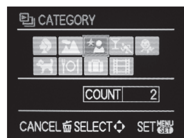
- [再生間隔] は[効果] が [OFF]に設定されている場合のみ設定できます。
- [音声] は [効果] が [OFF]に設定されている場合のみ表示されます。



カテゴリー再生

シーンモードまたはその他のカテゴリーごとに画像を見ることができます。

1. カテゴリー再生を選んで [MENU/SET] ボタンを押してください。
2. カテゴリーを選択します。
   画像が見つからないカテゴリーは暗く表示されます。選択したカテゴリーの画像枚数が表示されます。
3. [MENU/SET] ボタンを押して 再生を開始します。
4. ◀▶を押して画像を選択します。
   - 動画または音声を再生するには▲を押します。
   - 画像または動画のお気に入りにをマークするには ▼を押します。
   [再生] メニューの [お気に入り] を [ON] にセットしてください。



5. 再生を終了するには、モードスイッチを撮影 に設定してください。
   - カードまたは内蔵メモリーに多くのデータが記録されていると、画像データを検索するのに時間がかかることがあります。
   - 検索中に を押すと、検索は途中で停止します。
   - 画像は以下のカテゴリーに分類されます。

[人物]、[美肌]、[変身]、[自分撮り]、[夜景&人物]、[赤ちゃん1/2]
[風景]、[夕焼け]、[空撮]
[夜景&人物]、[夜景]、[星空]
[スポーツ]、[パーティ]、[キャンドル]、[花火]、[ビーチ]、[雪]、[空撮]
[赤ちゃん1/2]　[ペット]　[料理]
[トラベル日付]
[動画] - 静止画像は表示されません。



お気に入り再生

お気に入りの画像と動画の再生をします。[再生] メニューの [お気に入り] を [ON] にセットし、お気に入り画像があることを確認してください。

1.◀▶を押して画像を選択します。
   - 動画または音声(ある場合) を再生するには▲を押します。
2. 再生を終了するには、モードスイッチを撮影 に設定してください。



再生メニュー

1

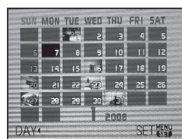
再生メニューを選択します。

設定を選択します。



2

CAL カレンダー検索



カレンダービューで記録日別に画像を見ます。

1. ▶を押して [カレンダー検索] に移動します。
2. ▲▼ を押して月を選択します。
3. ◀ ▶ を押して日を選択します。
4. [MENU/SET] ボタン を押します。
5. ▲▼◀▶を押して選択し画像を見るために [MENU/SET] ボタンを押します。カレンダーを再度見るには 🗑 を押します。

- 同じ日に記録した画像が複数ある場合は、その日に記録した最初の画像が表示されます。
- [ワールドタイム] で [旅行先] を設定すると、画像は旅行先の日付で分類されて表示されます。



タイトルの編集



画像に文字を加えられます。文字を記録すると、[文字焼き込み] でプリントに入れることができます。動画 / プロテクトされた画像には適用できません。

1. [タイトル編集] を選んで ▶を押します。
2. [1 枚設定] または [複数設定] を ▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1 枚設定] モードでは ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
   - [複数設定] モードでは、▲▼◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンで確定します。選択された画像は でマークされます。
4. ▲▼◀▶を押して文字を選択し、[MENU/SET] ボタン で 30 文字まで入力します。
5. [終了] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。



文字焼き込み　[1枚設定]-[複数設定]

撮影日時、月齢 / 年齢、トラベル日付、タイトルを画像に焼き込むことができます。動画とプロテクトされた画像には適用できません。

1. [文字焼き込み]を選んで ▶を押します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を ▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定]モードでは ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
   - [複数設定] モードでは▲▼ ◀▶ を押して画像を選択し、[DISPLAY] を押してマークし、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。

   選択された画像は ▢ でマークされます。
4. 焼き込む画像を選択するには▲▼ ◀▶ を押します。
5. [MENU/SET] ボタンを押して確定します。
6. 3M より大きい画像に焼き込むには▲を押し、[MENU/SET] ボタンを押してリサイズします。

[日　付]………西暦、月、日が画像に焼き込まれます。

[日　時]………西暦、月、日および時間が画像に焼き込まれます。

[月齢/年齢] ……設定すると[月齢/年齢]が画像に焼き込まれます。

[トラベル日付]…設定すると[トラベル日付]が画像に焼き込まれます。

[タイトル]……… [赤ちゃん1/2]、[ペット] または [タイトル編集] からのテキストを焼き込みます。

- 0.3M 画像に文字を焼き込むと読みづらくなります。
- 他のカメラで撮影された画像やファイルにテキストや日付を焼き込むことはできません。



リサイズ　[1枚設定]-[複数設定]

画像の記録画素数を下げます。最終的な記録画素数は横縦比設定によって決定します。動画 / プロテクトされた画像には適用できません。



1. [リサイズ]を選んで▶を押します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定]モードでは ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   - [複数設定] モードでは▲▼を押してサイズを選択し [MENU/SET] ボタンで確定します。▲▼◀▶を押して画像を選択し [DISPLAY] を押してマークします。

   選択された画像は ▬ でマークされます。
4. [1枚設定] モードでは◀▶を押してリサイズ後の画素数を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
   -[複数設定] モードでは [MENU/SET] ボタンを押して確定します。
5. ▲を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。
6. ステップ 2に戻って編集を続けるか、 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- サイズ変更した画像の画質は劣化します。
- 本機以外で撮影された画像のリサイズはできない場合があります。



トリミング

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1. [トリミング]を選んで ▶を押します。
2. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET]ボタンを押して確定します。
3. 望遠[T]を使って画像を拡大します。
4. ▲▼◀▶を使って位置を調整します。
5. [MENU/SET]ボタン を押して確定します。
6. ▲を押し、[MENU/SET]ボタンで保存します。
7. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。



- トリミングした画像の画質は劣化します。
- 他機で撮影された画像はトリミングできないことがあります。



傾き補正

画像の傾斜を調整します。

1. [傾き補正]を選んで ▶を押します。
2. ◀▶を押して 画像を選択し、[MENU/SET]ボタンで確定します。
3. ◀▶を押して 画像を調整し、[MENU/SET]ボタンで確定します。
4. ▲を押し、[MENU/SET]ボタンで保存します。
5. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 傾き補正が実行されると画質が劣化することがあります。
- 傾き補正を実行するとオリジナル画像とくらべて記録画素数は減少することがあります。
- 他機で撮影された画像は補正できない場合があります。



横縦比変換 4:3 - 3:2 - 16:9

16:9 で撮影した画像を 4:3 または 3:2 に変換することができます。動画 / プロテクトされた画像には適用できません。

1. [横縦比変換] を選んで ▶を押します。
2. 4:3 または 3:2 横縦比を選択するには▲▼を選択します。
3. ◀▶を押して 16:9 画像を選択し、[MENU/SET]ボタンで確定します。
4. 左右位置を調整するには◀▶ を押し、[MENU/SET]ボタン を押してセットします。
5. ▲を押し、[MENU/SET]ボタンで保存します。
6. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。



- 横縦比変換を行うと、画像の記録画素数が 大きくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は変換できない場合があります。



画像回転

手動で画像を90度ごとに回転させることができます。

1. [画像回転] を選んで ▶を押します。
2. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
3. 回転方向を選択するには、▼ を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
4. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。



回転表示 [OFF] - [ON]

[回転表示] をONにするとカメラを縦にして撮影した画像を自動で縦向きに表示できます。

1. [回転表示] を選んで ▶を押します。
2. ▲▼を押して [ON] または [OFF]を選択します。
3. [MENU/SET] ボタンを押して決定します。

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転表示することができません。Exif とは撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のフォーマットファイルです。



お気に入り [OFF] - [ON]

お気に入りの画像にマークをつけることができます。

1. [お気に入り]を選んで ▶を押します。
2. ▲▼ を押して [ON] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。
4. 画像を選択するために◀▶を押し▼を押してお気に入りマークをつけます。マークを消すにはもう一度 ▼ を押します。

お気に入り設定を全て解除するには

1. [お気に入り]を選んで▶を押します。
2. ▲▼ を押して [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押し、[MENU/SET] ボタンで解除を確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- 他機で撮影された画像には適用できない場合があります。



[DPOF プリント]　[1 枚設定] - [複数設定] - [全解除]

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントする時に、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、写真店でおたずねください。

1. [DPOF プリント] を選んで▶を押します。
2. [1 枚設定] または [複数設定] を▲▼で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1 枚設定] モードでは◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
   [複数設定] モードでは▲▼◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
4. ▲▼を押して [DPOF プリント] の枚数を入力します。
   選択された画像は でマークされます。
5. 日付を加えるには [DISPLAY] ボタンを押します。
   選択された画像は DATE でマークされます。
6. [MENU/SET] ボタンを押して決定します。
7. ステップ 3 以降を繰り返すか、 を押して再生メニューに戻ります。

DPOF プリント設定をすべて解除するには

1. [DPOF プリント] を選んで ▶を押します。
2. ▲▼ を押して [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押して、[MENU/SET] ボタンで全解除を確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- PictBridge 対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますのでご確認ください。
- 他機で撮影された画像には適用できない場合があります。
- DCF 規格に準拠していないファイルには設定できません。



プロテクト　[1 枚設定] - [複数設定] - [全解除]

画像を誤って削除するのを防ぐため、削除したくない画像をプロテクトすることができます。

1. [プロテクト] を選んで▶を押します。
2. [1 枚設定] または [複数設定] を▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1 枚設定] モードでは ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
   解除するにはもう一度 [MENU/SET] ボタンを押します。
   [複数設定] モードでは▲▼◀▶で画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押します。選択された画像は でマークされます。
4. ステップ 3 以降を繰り返すか、 を押して再生メニューに戻ります。

プロテクト設定をすべて解除するには

1. [プロテクト] を選んで ▶を押します。
2. ▲▼ を押して [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押して、[MENU/SET] ボタンで全解除を確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- 内蔵メモリーやカードで画像をプロテクト設定しても、内蔵メモリーやカードをフォーマットすると削除されます。
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。



アフレコ

撮影した画像に、音声情報を加えることができます。

1. [アフレコ] を選択して▶を押します。
2. ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンでアフレコを開始します。
3. すでに音声のある画像の場合は、▲を押し、[MENU/SET] ボタンで上書きをします。
4. 記録を終了するにはもう一度 [MENU/SET] ボタンを押します。
5. 再生メニューに戻るには 🗑 を押します。

- 他機で撮影された画像にはアフレコができない場合があります。



コピー 

撮影した画像データを内蔵メモリーからカードへ、またはカードから内蔵メモリーへコピーします。データの消失を防ぐため、コピー中に電源をOFFにしないでください。

1. [コピー] を選んで▶を押します。
2. ▲▼を押してコピー先を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
   IN→□内蔵メモリーからカードへコピーします。ステップ4に従ってください。
   □→IN カードから内蔵メモリーへ画像を1枚ずつコピーします。
3. ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して確定します。
4. ▲ を押し、[MENU/SET] ボタンでコピーを実行します。
5. ステップ2に従うか、🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 内蔵メモリーから十分な容量のないカードへ画像データをコピーすると、すべての画像データをコピーできません。 内蔵メモリー（約50 MB)よりも容量の大きいカードを使用することをおすすめします。
- IN→□を選択した場合、コピー元にあるファイルと同じ名前の画像が存在すると（フォルダー番号/ファイル番号）新しいフォルダーが作成され画像がコピーされます。
- □→INを選択した場合コピー元にあるファイルと同じ名前の画像が存在すると（フォルダー番号/ファイル番号）そのファイルはコピーされません。
- 画像データのコピーは時間がかかることがあります。
- Leica デジタルカメラで記録された画像のみコピーすることができます。パソコンで編集した画像はコピーできないことがあります。
- オリジナル画像データのDPOF 設定はコピーされません。コピーが完了したら再度DPOF 設定を行なってください。



パソコンと接続する

・撮影した画像をWindows/Macへ転送します。
・“Windows 98/98SE” をお使いの場合は、直接カメラを接続せずに別売のSDカード用カードリーダーを使用することをおすすめします。
・別売のACアダプターまたは十分残量のあるバッテリーを使用してください。
・ACアダプターのケーブルを差し込む前に電源をOFFにしてください。
・USB接続には付属のUSBケーブルのみを使用してください。
・カードを挿入したり取り出す前に電源をOFFにし、USB接続ケーブルを取り外してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

1 カメラをパソコンに接続する。

端子を変形させないようにUSB ケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。
内蔵メモリーからコピーしたい場合はカードを取り出してください。



スイッチをONにします。



USB ケーブルをカメラに差し込みます。

2 お使いのパソコン上で画像データを扱い操作を行う。

パソコンでの動画再生について

無料でダウンロードできるApple ‘QuickTime’ を使用できます。
http://www.apple.com/quicktime/download
Macintoshには標準で搭載されています。

パソコンにコピーしたい画像やフォルダーを選んで、ドラッグ＆ドロップ操作でパソコン上のフォルダーへ移動します。

3 接続したカメラをはずす。

Macintoshの場合

カメラを取り外す前に、関連するアイコンをゴミ箱にドラッグしてください。

Windowsの場合

カメラまたはカードを取り外す前にパソコンのタスクバー（パソコン画面右下）の「ハードウェアの安全な取り外し」を使用します。



[Windows]

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブ(例:E) が表示されます。
カメラを初めて接続すると必要なドライバーは自動的にインストールされます。

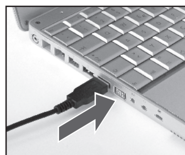


[Macintosh]

ドライブは画面にアイコンとして次のように表示されます。
- カードが挿入されていない場合　　[DLUX4]
- カードが挿入されている場合　　[NO_NAME] または [名称未設定]

[セットアップ] - [USBモード] メニューの初期設定で[PC]を設定していない場合は、▲▼を押して PCを選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。

[セットアップ] - [USBモード] で [PictBridge] を選択した場合はメッセージが表示されます。キャンセルを選択し、[セットアップ] - [USBモード] を[PC]に設定します。



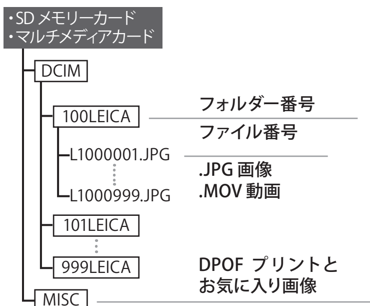
USB ケーブルをパソコンに差し込みます。



[通信中]が表示されている間は切断しないでください。

フォルダー構造

フォルダーは下図のように表示されます。



- 1つのフォルダーにつき最大999枚の画像データが入ります。
- ファイル / フォルダー番号をリセット するには [セットアップ] メニューの [番号リセット] を選択します。
- 番号は他のカメラのカードと交換した後に変更できます。

PTP 接続 (PictBridge)について

OSが 'Windows XP'、'Windows Vista' または 'Mac OS X' の場合、[USB モード] が [PICT BRIDGE] に設定されているときカメラを接続できます。接続されるとカメラはイメージデバイスとして表示されます。

- カメラの画像は読み込みのみできます。
- 1000 枚以上の画像が カードに保存されているとインポートできないことがあります。
- カメラが接続されている最中は内蔵メモリーとカードを切り替えることができません。
- カメラが接続されているときはモードダイヤルを回転させないでください。
- パソコンで編集したり回転した画像は特定の再生モード中では黒く表示されることがあります。
- お使いのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。
- カメラとパソコンの通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で接続を中止してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

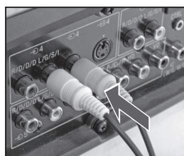


テレビと接続する

- 付属のAVケーブルを使ってカメラをテレビに接続すると、画像や動画をテレビで見ることができます。
- [セットアップ] メニューで［ビデオ出力］を設定すると、NTSCまたはPALシステムを使用する他の国（地方）のテレビで画像を見ることができます。
- テレビの取扱説明書をよくお読みください。
- 音声はモノラルで出力されます。
- 別売りのコンポネントケーブルを接続すると、いくつかの再生メニューが使用できないことがあります。

1 付属のAVケーブルを使って接続する。

端子を変形させないようAVケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。
内蔵メモリーから再生したい場合はカードを取り出してください。



AVケーブルをテレビに接続します。

黄色＝映像
白 ＝音声



モード[▶]を選択します。

2 別売のコンポネントケーブルで接続する。

端子を変形させないよう、コンポネントケーブルは真っ直ぐに引き抜き、抜き差ししてください。
内蔵メモリーから再生したい場合はカードを取り出してください。

3 カメラとテレビの接続を切断する。

カメラの電源をOFFにしテレビの電源を切り、ケーブルを取り外します。

ヒント

- ［横縦比設定］によって画像の上下または左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの取扱説明書をよくお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- テレビの種類によっては、画像が適切に表示されないことがあります。

[セットアップ] メニューでビデオの出力設定をします。



ビデオ出力 [NTSC] - [PAL]

各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

[NTSC] ＝ビデオ出力がNTSC方式に設定されます。

[PAL] ＝ビデオ出力がPAL方式に設定されます。

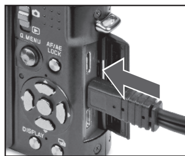


TV 画面タイプ 16:9 - 4:3

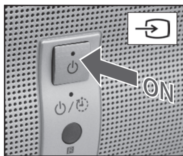
TVの種類に合わせて設定します。

16:9 [16:9] ＝画面が16:9のテレビと接続時

4:3 [4:3] ＝画面が4:3のテレビと接続時



AVケーブルをAV OUT/DIGITAL 端子に接続します。



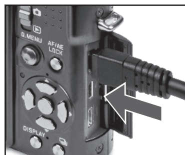
スイッチをONにして外部入力を選択します。



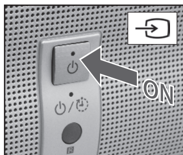
スイッチをONにします。

- 再生方法を選択します。 63ページを参照してください。

画面に表示される情報に従ってください。



別売りのコンポネントケーブルをカメラのコンポネント出力端子に接続します。



スイッチをONにして外部入力を選択します。



スイッチをONにします。

- 再生方法を選択します。 63ページを参照してください。

画面に表示される情報に従ってください。



プリンターと接続する

・カメラをUSB接続ケーブルでPictBridgeに対応したプリンターに直接接続すると、カメラの液晶モニター上でプリントする画像を選択し、プリントすることができます。
・あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。
・別売りのACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーを使用してください。カメラとプリンターの通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。その場合はプリントを一旦停止してください。プリントしない場合は USB接続ケーブルを抜いてください。
・別売りのACアダプターのケーブルを差し込む前に本機の電源をOFFにしてください。
・USB接続には付属のUSB接続ケーブルのみを使用してください。
・カードを挿入したり取り出す前には必ず電源をOFFにし、USB接続ケーブルを取り外してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

1 プリンターと接続する。

端子を変形させないよう、USB接続ケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。
内蔵メモリーからコピーしたい場合は、カードを取り出してください。

2 プリントする画像を選択する。

画面上の指示に従います。

RAWファイルは印刷できません。

プリント中にオレンジ色の［●］表示が点灯しているときは、カメラはプリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターをご確認ください。



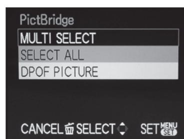
または



ひとつの画像

複数の画像





3 カメラとプリンターの接続を切断する。

このアイコンが表示されている間は切断しないでください。



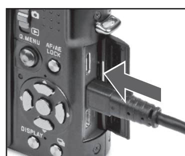
ヒント

- カメラがプリンターと接続されている間は内蔵メモリーとカードを切り替えることができません。USB接続ケーブルを抜き、カードを挿入または取り出し、USB接続ケーブルをプリンターに再度接続します。
- カメラが接続されているときはモードダイヤルを回転させないでください。
- お使いのプリンターの取り扱い説明書をお読みください。

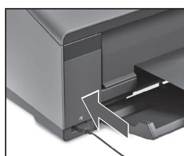
用紙サイズ

🖶	プリンター設定が優先されます	10 x 15 cm	100 x 150 mm
L/3.5″ x 5″	89 x 127 mm	4″ x 6″	101.6 x 152.4 mm
2L/5″ x 7″	127 x 178 mm	8″ x 10″	203.2 x 254 mm
はがき	100 x 148 mm	レター	216 x 279.4 mm
A4	210 x 297 mm	カード	54 x 85.6 mm
A3	297 x 420 mm	16：9	101.6 x 85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。



USB接続ケーブルをカメラに差し込みます。


スイッチをONにしてUSB接続ケーブルをプリンターに接続します。

[セットアップ] - [USBモード] メニューの初期設定で [PictBridge] 接続を設定していない場合は、▲▼ を押して PictBridge を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。

画面に表示される情報に従ってください。



プリントスタイルを選択します



確定します。

[複数選択]

▲▼◀▶を押して画像を選択し [DISPLAY] を押してマークします。選択された画像は 🖶でマークされます。
[MENU/SET] ボタンを押して選択を終了します。

[全画像]

保存されているすべての画像をプリントします。

[DPOF]

[DPOF] 設定された画像のみをプリントします。

[お気に入り]

[お気に入り] 設定された画像のみをプリントします。

[日付プリント]

日付をプリントする場合は[ON]、しない場合は[OFF]を選択します。

[プリント枚数]

999枚まで設定できます。[DPOF]が設定されていると表示されません。

[用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。プリンターが対応しているサイズのみ。

[レイアウト]

プリンターの対応レイアウト

- 🖶 プリンターの設定が優先されます。
- 1面ふちなし印刷
- 1面ふちあり印刷
- 2面印刷
- 4面印刷



トラブルシューティング

エラーが改善されない場合は、[セットアップ] メニューの[設定リセット] を行うと症状が改善する場合があります。

バッテリー、電源について

電源を[ON] にしても動作しない。	・バッテリーは正しい向きに入っていますか? ・バッテリーは十分に充電されていますか?
電源を [ON] にしているのに、液晶モニターが消灯している。	・[自動液晶 OFF] または [外部ファインダー] が ON になっていませんか?
電源を[ON] にしてもすぐ切れる。	・バッテリーは十分に充電されていますか?
[チャージ] ランプが点滅する。	・バッテリーの温度が高すぎたり低すぎたりすると充電に時間がかかったり、充電が完了しないことがあります。 ・チャージャーまたはバッテリー端子に汚れなどがついていませんか?

撮影について

画像が撮れない。	・撮影モードが選択されていますか ? ・モードダイヤルは正しく設定されていますか? ・カードまたは内蔵メモリーに十分な残量がありますか?
記録された画像が白っぽい。	・汚れや指紋がレンズについていませんか?汚れたときは、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。
撮影した場所の周辺が暗くなる。	・レンズを広角に設定し、近距離からフラッシュを使って撮影しましたか?
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	・露出が正しく補正されていますか? ・[下限シャッタースピード] が遅くに設定されていませんか? ・[ピンホール] シーンモードが設定されていませんか?
1回の撮影で2～3枚の画像が撮れるときがある、	・オートブラケット、マルチアスペクト、高速連写、フラッシュ連写などをOFFにしてください。
ピントが合わない。	・撮影モードで可能な焦点範囲をご確認ください。 ・被写体がピントが合う範囲から外れています。 ・カメラまたは被写体がブレていませんか?
撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。	・撮影場所が暗すぎませんか? ・両手でしっかりとカメラを持っていますか? ・必要であれば三脚とセルフタイマーを使用してください。
オートブラケットで撮影ができない。	・記録可能画像枚数が2枚以下ではありませんか?
撮影した画像が粗い。ノイズが出る。	・ISO 感度が高すぎたりシャッタースピードが長すぎませんか? ・撮影状況が暗すぎませんでしたか? ・[フィルムモード] で [ノイズリダクション]をプラスの方へ、それ以外の項目をマイナス方向に設定します。

撮影された画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	・SCN モードで [高感度] または [高速連写] が設定されていませんか？ 高感度処理のため記録された画像がわずかに劣化しますが、これは故障でありません。
撮影中に、液晶モニターに赤っぽい縦スジ（スミア）が出る。	・これはCCDの性質で、明るい被写体に見られるものです。 若干ばらつきはあるかもしれませんが、これは故障ではありません。 ・動画では記録されますが、静止画では記録されません。 ・日光または強い光やその他の強力な光源が被写体に入らないように注意してください。
動画撮影が途中で止まる。	・動画撮影にマルチメディアカードを使用しないでください。 ・カードの種類によっては動画撮影が中断する場合があります。
被写体をロックできない。（追尾 AF が失敗する。）	・被写体の中の、周囲の色とできるだけ異なる部分に AF エリアを持ってきてください。

レンズについて

撮影された画像がゆがんだり、被写体のまわりに色ぶちが発生する。	・ズーム位置によっては、レンズの特性上わずかに歪んだり、輪郭に着色が生じたりする場合がありますが、異常ではありません。

液晶モニターについて

電源［ON］中に、液晶モニターが消える。	・パワーセーブ機能が働いていませんか？ ・バッテリーは十分に充電されていますか？
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	・シャッターボタンを押し、絞りが自動調整された時にこのような現象が起きる場合がありますが、撮影された画像には影響ありません。またこれは異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	・蛍光灯によって生じる現象です。これは故障ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	・液晶モニターの明るさは正しく設定されていますか？ ・[パワー LCD] が ON になっていませんか？
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	・これは故障ではなく、画質には影響ありません。
液晶モニターにノイズが出る。	・暗い場所ではノイズが出ることがあります。撮影する画質に影響はありません。

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。	• フラッシュは閉じられていますか？ • フラッシュがOFFに設定されていませんか？ • オートブラケットまたは[撮影] メニューで[連写] が設定されているときは発光しません。
フラッシュが数回発光する。	• 赤目軽減モードが有効になっています。最初のフラッシュが赤目を軽減します。

再生について

再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	• [回転表示] を [ON]にセットしていませんか？ • [画像回転] 機能を使うと画像を回転できます。
再生できない。	• [カテゴリー再生] または[お気に入り再生] が再生方法で設定されていませんか？ [通常再生]に変更してください。
フォルダー•ファイル番号 が [–] で表示され、画像が黒くなる。	• 画像をパソコンで編集しませんでしたか？ • 他のカメラで撮影した画像がありませんか？ • 撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影しませんでしたか？
カレンダーを再生すると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	• カメラの時計は正しく設定されていますか？ • 画像をパソコンで編集しませんでしたか？ • 他のカメラで撮影した画像がありませんか？
撮影した画像の上に石鹸の泡のような白い丸い点が現れる。	• 暗い場所でフラッシュを使うと、空気中の粒子が反射して生じます。これは故障ではありません。
[サムネールが表示されます] が画面に表示される。	• 他のカメラで撮影した画像がありませんか？画質が悪いと表示されることがあります。
クリック音が動画に録音される。	• 自動絞り調整によって動画撮影中にクリック音が録音される場合がありますが、異常ではありません。

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。	• カメラはテレビに正しく接続されていますか？ • テレビの入力は正しく設定されていますか？ • カメラのメニューは正しく設定されていますか？ • カメラはパソコンまたはプリンターに接続されていませんか？テレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	• [TV画面タイプ] 設定をチェックします。 • テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	• カメラはテレビに正しく接続されていますか？ • 付属のAVケーブルを使用していますか？ • 別売のコンポネントケーブルを使用していませんか？

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	•TV 画面タイプを確認してください。
パソコンに接続して画像を転送できない。	•カメラはパソコンに正しく接続されていますか？ •カードはパソコンに正しく認識されていますか？ [USB モード] を [PC] に設定してください。
カードまたは内蔵メモリーがパソコンに認識されない。	•USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	• PictBridge に対応していないプリンターではプリントできません。カメラの [USB モード] を [PictBridge] に設定してください。
プリントすると、画像の端が切れる。	•プリンターは正しく設定されていますか？ •ふちなしプリントまたはトリミングの設定を解除してください。

その他

間違った言語を設定してしまった。	•[MENU/SET] ボタンを押してセットアップメニュー を表示し、 アイコンを選んで、言語設定をしてください。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	•暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光が点灯します。
AF 補助光が点灯しない。	•撮影メニューの [AF 補助光] が [ON] に設定されていますか？ •AF 補助光は明るいところでは点灯しません。
本機が熱くなる。	•これは故障ではなく、画質には影響ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	•これは故障ではなく、画質には影響ありません。
時計がリセットされる。	•カメラが長期間使用されなかった場合は、時計設定がリセットされることがあります。
画像をズームするとわずかにゆがんで表示され、画像の周囲に実際にはない色が付いている。	•ズーム位置によっては、レンズの特性上わずかに歪んだり、輪郭に着色が生じたりする場合がありますが異常ではありません。
ズームが瞬間的に止まる。	•EX 光学ズーム時、W 端近くではズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	•特定の操作後、撮影を継続すると、違うフォルダーに保存される場合があります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	•カメラの電源を入れたままバッテリーを取り外したり挿入すると、保存されたフォルダー番号は無効になります。
[年齢] が正しく表示されない。	•時間と誕生日の設定を確認してください。
レンズが引っ込む。	• レンズは、［撮影］モードから［再生］モードへ切り替えた後、およそ 15 秒後に引っ込みます。

組み合わせが不可能な機能

機能	機能が設定できない条件
[オートパワー　LCD]	• モード
[パワーセーブ]	• ACアダプターを使用しているとき • パソコンまたはプリンターに接続しているとき • 動画の撮影時または再生時 • スライドショーの間 • [オートデモ]
[自動液晶OFF]	• ACアダプターを使用しているとき • メニュー画面が表示されている間 • セルフタイマーが設定されているとき • 動画の撮影中 • パソコンまたはプリンターに接続しているとき
[オートレビュー]	• モード
[EX光学ズーム]	• SCN モードの • モード
[デジタルズーム]	• SCN モードの • インテリジェント ISO が設定されているとき
[ヒストグラム]	• モード • マルチ再生中 • 再生ズーム中 • [カレンダー]
[フラッシュ]	• オートブラケットが設定されているとき • [連写] • SCN モードの • モード • [フィルムモード] で [マルチフィルム] が設定されているとき
[フラッシュ光量調節]	• SCN モードの • モード
[セルフタイマー]	• SCN モードの • モード
[露出補正]	• SCN モードの • M モード
[オートブラケット]/ [マルチアスペクト]	• SCN モードの • モード
[連写]	• SCN モードの • モード
[記録画素数]	• SCN モードの • モード
[クオリティ]	• SCN モードの • モード
[インテリジェント ISO]	• S モード • M モード • SCN モード • モード

[ISO 感度]	・SCN モード ・モード ・インテリジェント ISO が設定されているとき
[ISO 感度上限設定]	・SCN モード ・モード
[ホワイトバランス]	・SCN モードの
[ホワイトバランス補正]	・SCN モードの
[追尾 AF]	・SCN モードの ・モード ・[フィルムモード] で [標準] BW [ダイナミック] BW および [スムーズ] BW が設定されているとき
[クイック AF]	・SCN モードの ・モード
[連続 AF]	・SCN モードの ・マニュアルフォーカスが設定されているとき
[暗部補正]	・SCN モード ・モード
[下限シャッタースピード]	・A モード ・S モード ・M モード ・SCN モード ・モード ・インテリジェント ISO が設定されているとき ・[多重露光]
[音声記録]	・[オートブラケット] ・[マルチアスペクト] ・[連写] ・SCN モードの ・モード ・[フィルムモード] で [マルチフィルム] が設定されているとき
[AF 補助光]	・SCN モードの
[AF/AE ロック]	・M モード ・SCN モード
[フラッシュ シンクロ]	・SCN モード ・モード
[再生ズーム]	・動画再生をしているとき ・音声付き静止画像 (音声を再生しているとき)
[タイトルの編集]	・動画 ・プロテクトされた画像
[文字焼き込み]	・時計設定を行わずに撮影された画像 ・動画 ・音声付静止画 ・[文字焼き込み] 済の画像

[リサイズ]	• 動画 • 音声付静止画 • [文字焼き込み]済の画像
[トリミング]	• 動画 • 音声付静止画 • [文字焼き込み]済の画像
[傾き補正]	• 動画 • 音声付静止画 • [文字焼き込み]済の画像
[横縦比変換]	• 3:2 または 4:3 で記録した画像 • 動画 • 音声付静止画 • [文字焼き込み]済の画像
[画像回転]	• 動画 • プロテクトされた画像
[回転表示]	• マルチ再生 • [カレンダー検索]
[お気に入り]	• [クオリティ] が RAW. に設定されているとき
[日付プリント]	• [文字焼き込み]済の画像 • [クオリティ] が RAW. に設定されているとき
[アフレコ]	• 動画 • プロテクトされた画像

コンポネントケーブルが接続されているときに組み合わせられない機能

- [LCDモード]、[ヒストグラム]、[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]、[傾き補正]、[横縦比変換]、[アフレコ]、[コピー]
- [DPOF プリント]の[複数]設定、[プロテクト] と [複数削除]。
- 動画から静止画を作成すること。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。ここではその主なメッセージを例として説明しています。

[このメモリーカードはロックされています]

SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」に設定されています。

[表示できる画像がありません]

画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。

[この画像はプロテクトされています]

画像のプロテクトを解除してから削除してください。

[削除できない画像があります/この画像は削除できません]

DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してからカードをフォーマットしてください。

[設定枚数をこえました]

[複数設定] [複数削除]、[お気に入り]、[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[リサイズ] で選択可能な限度数をこました。
お気に入り設定が999枚を超えています。

[この画像には設定できません]

[タイトル編集]、[文字焼き込み] または [DPOF プリント] はDCF規格に準拠していない画像に設定できません。

[内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています]

内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードの空き容量がなくなるまで内蔵メモリーからカードへ画像をコピーできます。

[コピーできない画像があります/画像をコピーすることができませんでした]

カードからコピーする画像と同じ名前の画像が内蔵メモリーにあります。ファイルがDCF規格に準拠していません。
また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。

[内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？]

パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマットし直してください。実行する前にデータを保存してください。

[メモリーカードエラー　カードをフォーマットしますか?]

カードのフォーマットがカメラに認識されません。必要なデータを保存してから本機でフォーマットし直してください。

[電源を入れ直してください]

正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。

[メモリーカードエラー　カードのパラメータが異常です]

本機に対応したカードをお使いください。4GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。

[メモリーカードエラー　カードを確認してください]

カードへのアクセスに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[リードエラー　カードを確認してください]

データの読み込みに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[ライトエラー　カードを確認してください]

データの書き込みに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました]

画質設定を [30fpsVGA]、[30fps HD]または[30fps WVGA]に設定している場合は、10MB/s以上のSDメモリーカードを使用することをおすすめします。SDメモリーカードの種類によっては、動画撮影が中断されることがあります。

[フォルダーを作成できません]

使用できるフォルダー番号がなくなったためフォルダーを作成できません。必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号がにリセットされます。

[4:3TV用で出力します。/ 16:9TV用で出力します]

本機にAVケーブルが接続されました。[MENU/SET] ボタンを押すとメッセージを消せます。
TV画面タイプ比を変更したい場合は、セットアップメニューの[TV画面タイプ] で変更してください。

USB ケーブルがカメラのみに接続されています。USB接続ケーブルのもう一方をパソコンまたはプリンターに接続するとメッセージは消えます。

[プリンター　ビジー] / [プリンターを確認してください]

カメラがプリントできない場合はプリンターを確認してください。

Capture One 4のインストール

Rawデータ

RAWフォーマットを選んだ場合、保存したRAWデータを最高品質で現像するためには高度に特化されたソフトウェアが必要となります。たとえばプロフェッショナルな RAWデータコンバーターであるPhase One 社の「Capture One 4 」です。ソフトウェアはDVD-ROMで提供され、ライカD-LUX 4の製品パッケージに含まれます。Capture One 4 は品質を最善化したデジタルカラー処理、同時に特にノイズの少ない、そして驚異的な画像解像度を可能にするアルゴリズムを 提供します。
その処理をする場合、後でホワイトバランス、ノイズ削減、グラデーション、シャープネスなどのパラメータを設定することができ、最高度の画質を得られます。

Capture One 4のインストール

インストールするには、Phase Oneのホームページでユーザー登録をする必要があります。

メモ:

- 必要なライセンスコードを用意してください。
  DVD-ROMの入った紙の封筒の背面に印刷されています。
- ライセンスコードがない場合はソフトウェアを30日の試用期間のみ使用できます。

1. Capture One 4の最初のスタート時には「Activation」（起動）の項目を選択してください。

2. ライセンスコードをその欄に記入してください。

メモ:

ソフトウェアの起動には、有効な電子メールアドレスも必要です。

3. その後の指示に従ってください。

起動時にはユーザーのプロファイルがPhase Oneのライセンスサーバーに登録されます。これにより、例えば一度起動を中断した後、別のパソコンにインストールして再起動することができます。

メモ:

- 「ヘルプ」ボタンをクリックすると、Capture One 4のハンドブックの載ったウィンドウが開きます。その中に起動および終了の説明があります。Capture One 4は最初の起動時は英語のユーザーインターフェイスで開きます。言語の設定をメニュー項目［Edit-Preferences］から希望の言語に切り替えることができます。
- Capture One 4をお使いになってサポートが必要な場合は、次のサイトを呼び出してください。http://www.phaseone.com/Supportから、ソフトウェアの起動中に作成された「Phase One Profile」を使ってログインしてください。

システム条件

Microsoft® Windows® XP Professional あるいは Home Edition、Service Pack 2 Windows / Vista®、Mac®OS X 10.4.11 あるいはそれ以後のバージョンが必要です。Windowsのバージョンによってはオペレーションシステムが Windowsの署名がないことを警告する場合があります。このメッセージは無視してインストールを継続してください。

記録可能枚数

•記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
•被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

画像横縦比		4:3												
記録画素数		10M 3648x2736					7M 3072x2304				5M 2560x1920			
クオリティ		RAW	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		4	2	3	9	20	3	3	14	28	3	3	20	40
カード	32 MB	2	1	1	5	11	1	2	7	16	1	2	11	23
	64 MB	5	3	4	11	24	3	4	16	34	4	4	24	48
	128 MB	10	7	8	24	49	7	8	35	69	8	9	50	99
	256 MB	19	14	16	48	97	15	17	68	135	16	18	98	190
	512 MB	39	27	32	97	190	30	34	135	270	32	35	195	380
	1 GB	79	56	65	195	380	61	69	270	540	65	71	390	770
	2 GB	160	110	130	390	770	120	140	550	1090	130	145	790	1530
	4 GB	310	220	260	770	1520	240	270	1090	2150	260	280	1560	3010
	8 GB	640	450	530	1580	3100	490	560	2200	4380	530	580	3180	6130
	16 GB	1290	920	1070	3180	6250	1000	1120	4490	8820	1070	1170	6410	12350
	32 GB	2590	1840	2150	6390	12540	2010	2260	9010	17700	2150	2340	12870	24780

画像横縦比		4:3											
記録画素数		3M 2048x1536				2M 1600x1200				0.3M 640x480			
クオリティ		RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		3	3	32	62	3	4	51	97	4	4	240	400
カード	32 MB	2	2	18	36	2	2	29	56	2	2	145	230
	64 MB	4	4	38	75	4	4	61	115	4	4	290	480
	128 MB	8	9	78	150	9	9	125	230	10	10	600	970
	256 MB	17	18	150	290	18	19	240	460	19	19	1170	1900
	512 MB	34	37	300	590	36	37	480	910	38	39	2320	3770
	1 GB	70	74	600	1180	73	75	970	1830	77	78	4640	7550
	2 GB	140	150	1220	2360	145	150	1920	3610	155	155	8780	12290
	4 GB	270	290	2410	4640	390	300	3770	7090	310	310	17240	24130
	8 GB	560	600	4910	9440	590	610	7670	14440	630	630	35080	49120
	16 GB	1140	1210	9880	19000	1190	1230	15440	29070	1270	1270	70590	98840
	32 GB	2290	2420	19820	38120	2390	2480	30970	58310	2540	2560	141620	198270

画像横縦比		3:2												
記録画素数		9.5M 3776x2520					6.5M 3168x2112				4.5M 2656x1768			
クオリティ		RAW	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		4	2	3	10	21	3	3	14	30	3	3	21	42
カード	32 MB	2	1	2	5	11	1	2	8	36	2	2	12	24
	64 MB	5	3	4	12	25	3	4	17	73	4	4	25	50
	128 MB	10	7	8	25	51	8	9	36	140	8	9	52	100
	256 MB	21	14	17	51	100	16	18	72	280	17	19	100	200
	512 MB	41	29	34	100	200	32	36	140	570	34	37	200	400
	1 GB	83	59	69	200	400	64	72	280	1150	69	75	410	800
	2 GB	165	120	140	410	810	130	145	580	2270	140	150	820	1610
	4 GB	330	230	270	810	1600	250	290	1140	4630	270	300	1630	3170
	8 GB	670	480	560	1650	3270	520	590	2330	3920	560	610	3310	6460
	16 GB	1360	960	1130	3330	6580	1050	1190	4700	9320	1130	1230	6670	13000
	32 GB	2730	1940	2260	6690	13210	2120	2380	9440	18700	2270	2470	13390	26080

画像横縦比		3:2							
記録画素数		3M 2112x1408				2.5M 2048x1360			
クオリティ		RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		3	4	33	65	3	4	36	69
カード	32 MB	2	2	19	37	2	2	20	40
	64 MB	4	4	40	78	4	4	43	83
	128 MB	9	10	82	155	9	10	88	165
	256 MB	18	19	160	310	18	19	170	330
	512 MB	36	39	320	610	37	39	330	650
	1 GB	73	78	640	1230	74	78	680	1310
	2 GB	145	155	1270	2450	150	155	1360	2560
	4 GB	290	310	2510	4820	290	310	2680	5020
	8 GB	590	630	5110	9820	600	630	5450	10230
	16 GB	1200	1270	10290	19760	1210	1280	10980	20590
	32 GB	2410	2560	20650	39650	2430	2560	22020	41300

記録可能枚数

画像横縦比		16:9												
記録画素数		9M 3968x2232					6M 3328x1872				4.5M 2784x1568			
クオリティ		RAW	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		4	3	3	11	22	3	4	15	32	3	4	22	45
カード	32 MB	2	1	2	6	12	1	2	9	18	2	2	13	26
	64 MB	5	3	4	13	27	4	4	19	38	4	5	27	54
	128 MB	11	8	9	27	55	8	10	39	79	9	10	56	110
	256 MB	22	15	18	54	105	17	19	77	150	18	20	110	210
	512 MB	44	31	36	105	210	34	38	155	300	37	40	210	430
	1 GB	89	63	74	210	430	69	78	310	610	74	81	440	860
	2 GB	180	125	150	440	870	140	155	620	1220	150	160	890	1700
	4 GB	350	250	290	870	1720	270	310	1230	2410	290	320	1740	3350
	8 GB	720	510	600	1770	3500	560	630	2500	4910	600	650	3550	6820
	16 GB	1460	1030	1210	3580	7050	1130	1270	5040	9880	1210	1320	7160	13720
	32 GB	2930	2080	2420	7180	14160	2270	2550	10110	19820	2430	2650	14360	27530

画像横縦比		16:9							
記録画素数		2.5M 2208x1248				2M 1920x1080			
クオリティ		RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL	RAW+FINE	RAW+NORMAL	FINE	NORMAL
内蔵メモリー		4	4	36	71	4	4	47	92
カード	32 MB	2	2	21	41	2	2	27	53
	64 MB	4	5	43	85	5	5	57	105
	128 MB	10	10	86	170	10	10	115	220
	256 MB	19	21	170	330	20	21	220	430
	512 MB	39	41	340	670	40	42	450	860
	1 GB	79	83	690	1340	81	85	900	1720
	2 GB	160	170	1390	2670	165	165	1800	3410
	4 GB	310	330	2740	5240	320	330	3540	6700
	8 GB	640	680	5580	10670	660	680	7220	13640
	16 GB	1290	1360	11230	21480	1320	1380	14530	27450
	32 GB	2590	2740	22530	43100	2660	2780	29150	55070

記録可能時間

・動画は連続して2GBまで撮影できます。 画面には2GBまでしか表示されません。
・画面に表示される記録可能枚数と撮影可能時間は、規則正しく減少しないことがあります。
・液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
・本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
・シーンモードの[高感度]または[高速連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数のEZは表示されません。

画質設定		HD	WVGA	VGA	QVGA-H	QVGA-L
内蔵メモリー		-	-	-	-	
カード	32 MB	6 秒	14 秒	17 秒	56 秒	2 分 35 秒
	64 MB	16 秒	33 秒	39 秒	1 分 58 秒	5 分 20 秒
	128 MB	37 秒	1 分 10 秒	1 分 22 秒	5 分 0 秒	10 分 50 秒
	256 MB	1 分 15 秒	2 分 15 秒	2 分 40 秒	7 分 50 秒	21 分 10 秒
	512 MB	2 分 30 秒	4 分 30 秒	5 分 20 秒	15 分 40 秒	42 分 0 秒
	1 GB	5 分 0 秒	9 分 20 秒	10 分 50 秒	31 分 20 秒	1 時間 24 分
	2 GB	10 分 30 秒	19 分 0 秒	22 分 10 秒	1 時間 5 分	2 時間 51 分
	4 GB	11 分 10 秒	37 分 30 秒	43 分 40 秒	2 時間 5 分	5 時間 36 分
	8 GB	20 分 40 秒	1 時間 16 分	1 時間 28 分	4 時間 15 分	11 時間 23 分
	16 GB	1 時間 24 分	2 時間 33 分	2 時間 59 分	8 時間 35 分	22 時間 55 分
	32 GB	2 時間 50 分	5 時間 8 分	5 時間 59 分	17 時間 13 分	46 時間 0 分



仕様

技術仕様は予告なく変更されることがあります。

カメラ:

電源:	DC 5.1 V
消費電力:	1.5 W (撮影)、0.8 W (再生)
カメラ有効画素数:	1010万画素
撮影素子:	1/1.63" CCD、総画素数 1130万画素 カラーフィルター
レンズ:	光学2.5倍ズーム、f=5.1mm ~ 12.8mm (35mmフィルムカメラ換算 24mm ~ 60mmに相当) F2.0 ~ F2.8
デジタルズーム:	最大 4倍
EX光学ズームレンズ:	最大 4.5倍
フォーカス:	ノーマル /マクロ /顔認識 /追尾 AF / 11点 /3点 (H) /1点 (H) /1点/スポット
ピントが合う範囲:	50cm (広角) /1m (望遠) ~ ∞
マクロ/インテリジェント オート:	1cm (広角) /30cm (望遠) ~ ∞
シャッター :	自動 およびメカニカルシャッター併用
動画撮影:	**画像横縦比** 4:3 設定時 撮影: 640 x 480 画素 (カード使用時は 30 fps) 320 x 240 pixels (30 fps, 10 fps) **画像横縦比** 16:9 設定時 撮影: 848 x 480 画素 (カード使用時は 30 fps) 撮影: 1280 x 720 画素 (カード使用時は 24 fps) 音声付き
連写撮影:	2.5 枚/秒 (通常)、約 2 枚/秒 (無限連写)
記録可能枚数:	内蔵メモリー使用時: 最大8枚 (標準)、最大4枚 (ファイン)、カード使用時: カードの容量による (制限なし)。 (連写撮影はSDメモリーカード/SDHCメモリーカードのみ可能です。マルチメディアカードは適していません。)
高速連写速度:	約6コマ/秒 (2M (4:3)、2.5M (3:2) または2M (16:9) が画像サイズとして選択されます。)
高速連写時記録可能枚数:	内蔵メモリー使用時: 約35枚 (フォーマットの直後) カード使用時: 最大100画像 (カードの種類や撮影条件によって異なる)
ISO 感度:	オート /80/100/200/400/800/1600/3200 [高感度] モード: 1600 ~ 6400
シャッタースピード:	60 秒 ~ 1/2000 秒 [星空] モード: 15 秒、30秒、60 秒

ホワイトバランス:	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/ ホワイト設定 1/ホワイト設定 2/ホワイトバランスK設定
露出(AE):	プログラムAE(P)/絞り優先 AE(A)/シャッター優先(S)/ マニュアル露出(M) 露出補正(1/3 EVステップ、-2 EV ～ +2 EV)
測光モード:	マルチ/中央重点/スポット
液晶モニター:	3型低温ポリシリコンTFT 液晶 (約46万画素)(視野率約100%)
フラッシュ:	内蔵ポップアップフラッシュ フラッシュ:[ISO オート] 約80 cm ～ 8 m (広角) オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光) 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク/スピーカー:	モノラル
記録メディア:	内蔵メモリー(約 50 MB)/SD メモリーカード/ SDHC メモリーカード/マルチメディアカード(静止画のみ対応)
画像サイズ	
静止画像:	画像横縦比 4:3 設定時 3648x2736 画素、3072x2304 画素、2560x1920 画素 2048x1536 画素、1600x1200 画素、640x480 画素 画像横縦比 3:2 設定時 3776x2520 画素、3168x2112 画素、2656x1768 画素 2112x1408 画素、2048x1360 画素 画像横縦比 16:9 設定時 3968x2240 画素、3328x1872 画素、2784x1568 画素 2208x1248 画素、1920x1080 画素
動画:	画像横縦比 4:3 設定時 640x480 画素(カード使用時)、320x240 画素 画像横縦比 16:9 設定時 1280x720 画素(カード使用時) 848x480 画素(カード使用時)
クオリティ:	ファイン/スタンダード/RAW/RAW+ファイン/RAW+スタンダード
記録画像データ形式	
静止画:	JPEG(DCF 準拠、Exif2.21 準拠) / DPOF 対応
音声付き静止画:	JPEG(DCF 準拠、Exif2.21 準拠) ＋QuickTime (音声付き静止画)
動画:	QuickTime Motion JPEG(音声付き動画)
インターフェース	
デジタル:	USB 2.0(High Speed)
アナログビデオ/オーディオ:	NTSC/PAL コンポジット(メニュー切り換え) / オーディオライン出力(モノラル)
端子	
[COMPONENT OUT]:	専用ジャック(10 Pin)
[AV OUT/DIGITAL]:	専用ジャック(8 Pin)
[DC IN]:	専用ジャック(2 Pin)

寸法（幅×高さ×奥行き）：	約 109 mm x 60 mm x 27 mm [4 1/4 ″ × 2 1/3 ″ × 11/16 ″]（突起部除く）
質量:	約 228 g（本体） 約 264 g（バッテリー /カード含む）
推奨使用温度:	0 ℃ ～ 40 ℃
許容相対湿度 :	10 % ～ 80 %

チャージャー :

安全に関する情報

定格入力:	110V ～ 240V ~50/60Hz, 0.2A
定格出力:	出力　4.2V 0.8A

バッテリーパック:

安全に関する情報

電源:	3.6V、1000mAh

Leica サービス窓口

ライカ アカデミー

ライカカメラ社では、高性能な写真関連製品の製造に携わるだけでなく、長年にわたるサービスの一環としてライカアカデミーを主催しています。ライカアカデミーでは、実践的なセミナーやトレーニングコースを開催し、写真や映像分野の専門知識を、初心者から上級者までの熱心な写真愛好家の皆様にご提供します。経験豊かなスタッフが、本社工場やグート・アルテンベルクにある最新の研修施設にて実施するコース内容には、一般的な写真撮影から専門の対象分野までが含まれます。こちらでは、数多くのアドバイスや情報に加えて、皆様の作品作りに対するサポートもご提供しています。ライカアカデミーの最新プログラムについては、下記までお問い合わせください。

Leica Camera AG
Leica Academie
Oskar-Barnack Str.11
D-35606 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-421
Fax: +49 (0) 6442-208-425
ia@leica-camera.com

ライカのホームページ

各種製品、ニュース、イベント、会社情報等に関する最新情報については、ライカカメラ社のホームページをご覧ください。

http://www.leica-camera.com
http://www.leica-camera.co.jp

ライカ インフォメーションサービス

ライカ製品の使い方などの技術的なご質問は、下記までお問い合わせください。

Leica Camera AG
Information Service
Postfach 1180
D-35599 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-111
Fax: +49 (0) 6442-208-339
info@leica-camera.co.jp

ライカ デジタルカメラサポートセンター

＜技術的なお問い合わせ窓口＞ Tel. 03-5956-6428
受付時間：月曜日～金曜日　10：00～12：00、13：00～16：30
祝祭日は受け付けておりませんのでご了承ください。

ライカ カスタマーサービス

ライカ製品のメンテナンスや修理が必要な場合には、下記のカスタマーサービスセンター、またはお近くのライカ正規特約店までお問い合わせください。

Leica Camera AG,
Customer Service
Solmser Gewerbepark 8
D-35606 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-189
Fax: +49 (0) 6442-208-339
customer.service@leica-camera.com

ライカカメラジャパン株式会社
カスタマーサービス

東京都中央区銀座6-4-1　ライカ銀座店内
Tel. 03-6215-7072
Fax. 03-6215-7073
Email.info@leica-camera.co.jp



my point of view

Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Str.11 / D-35606 Solms
www.leica-cameras.com / info@leica-camera.com
Telefon +49 (0) 64 42-208-0 / Telefax +49 (0) 64 42-208-333

93 252 IX/08/P